

Dell Latitude E5440

オーナーズマニュアル

規制モデル: P44G
規制タイプ: P44G001



メモ、注意、警告

-  **メモ:** コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。
-  **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

著作権 © 2014 Dell Inc. 無断転載を禁じます。 この製品は、米国および国際著作権法、ならびに米国および国際知的財産法で保護されています。Dell™、およびデルのロゴは、米国および/またはその他管轄区域における Dell Inc. の商標です。本書で使用されているその他すべての商標および名称は、各社の商標である場合があります。

2014 -11

Rev. A02

目次

1 コンピューター内部の作業	6
コンピュータ内部の作業を始める前に.....	6
コンピュータの電源を切る.....	7
コンピュータ内部の作業を終えた後に.....	8
2 コンポーネントの取り外しと取り付け	9
奨励するツール.....	9
システムの概要.....	10
バッテリーの取り外し.....	11
バッテリーの取り付け.....	12
SD カードの取り外し.....	12
SD カードの取り付け.....	12
ExpressCard の取り外し.....	12
ExpressCard の取り付け.....	13
SIM カードの取り外し.....	13
SIM カードの取り付け.....	13
ディスプレイベゼルの取り外し.....	13
ディスプレイベゼルの取り付け.....	14
ディスプレイパネルの取り外し.....	14
ディスプレイパネルの取り付け.....	15
カメラの取り外し.....	15
カメラの取り付け.....	16
キーボードトリムの取り外し.....	16
キーボードトリムの取り付け.....	17
キーボードの取り外し.....	17
キーボードの取り付け.....	19
ベースカバーの取り外し.....	19
ベースカバーの取り付け.....	20
オプティカルドライブの取り外し.....	20
オプティカルドライブの取り付け.....	21
ハードドライブの取り外し.....	22
ハードドライブの取り付け.....	22
メモリモジュールの取り外し.....	23
メモリモジュールの取り付け.....	23
WLAN カードの取り外し.....	24
WLAN カードの取り付け.....	24
コイン型電池の取り外し.....	24

コイン型電池の取り付け.....	25
ディスプレイヒンジの取り外し.....	25
ディスプレイヒンジの取り付け.....	26
パームレストの取り外し.....	26
パームレストの取り付け.....	28
ディスプレイアセンブリの取り外し.....	28
ディスプレイアセンブリの取り付け.....	30
ExpressCard ケージの取り外し.....	30
ExpressCard ケージの取り付け.....	31
システムファンの取り外し.....	31
システムファンの取り付け.....	32
システム基板の取り外し.....	33
システム基板の取り付け.....	35
ヒートシンクの取り外し.....	36
ヒートシンクの取り付け.....	36
I/O ボード (左) の取り外し.....	37
I/O ボード (左) の取り付け.....	38
I/O ボード (右) の取り外し.....	38
I/O ボード (右) の取り付け.....	39
電源コネクタの取り外し.....	39
電源コネクタの取り付け.....	40
スピーカの取り外し.....	40
スピーカの取り付け.....	41
ステータスライトボードの取り外し.....	42
ステータスライトボードの取り付け.....	43
3 システムセットアップ.....	44
起動順序.....	44
ナビゲーションキー.....	44
セットアップユーティリティのオプション.....	45
BIOS のアップデート.....	56
システムパスワードおよびセットアップパスワード.....	57
システムパスワードおよびセットアップパスワードの割り当て.....	57
既存のシステムパスワードおよび / またはセットアップパスワードの削除または変更.....	58
4 診断.....	59
ePSA (強化された起動前システムアセスメント) 診断.....	59
デバイスステータスライト.....	60
バッテリーステータスライト.....	60
5 仕様.....	61


6 デルへのお問い合わせ.....	67
-------------------	----


コンピューター内部の作業


コンピュータ内部の作業を始める前に


コンピュータの損傷を防ぎ、ユーザー個人の安全を守るため、以下の安全に関するガイドラインに従ってください。特記がない限り、本書に記載される各手順は、以下の条件を満たしていることを前提とします。


- コンピュータに付属の「安全に関する情報」を読んでいること。
- コンポーネントは交換可能であり、別売りの場合は取り外しの手順を逆順に実行すれば、取り付け可能であること。


 **警告:** コンピュータ内部の作業を始める前に、コンピュータに付属の「安全に関する情報」に目を通してください。安全に関するベストプラクティスについては、規制コンプライアンスに関するホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) を参照してください。

 **注意:** 修理作業の多くは、認定されたサービス技術者のみが行うことができます。製品マニュアルで許可されている範囲に限り、またはオンラインサービスもしくは電話サービスとサポートチームの指示によってのみ、トラブルシューティングと簡単な修理を行うようにしてください。デルで認められていない修理（内部作業）による損傷は、保証の対象となりません。製品に付属しているマニュアルの「安全にお使いいただくために」をお読みになり、指示に従ってください。

 **注意:** 静電気による損傷を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用するか、またはコンピュータの裏面にあるコネクタなどの塗装されていない金属面に定期的に触れて、静電気を身体から除去してください。


 **注意:** コンポーネントとカードは丁寧に扱ってください。コンポーネント、またはカードの接触面に触らないでください。カードは端、または金属のマウンティングブラケットを持ってください。プロセッサなどのコンポーネントはピンではなく、端を持ってください。

 **注意:** ケーブルを外す場合は、ケーブルのコネクタかプルタブを持って引き、ケーブル自体を引っ張らないでください。コネクタにロックングタブが付いているケーブルもあります。この場合、ケーブルを外す前にロックングタブを押さえてください。コネクタを引き抜く場合、コネクタピンが曲がらないように、均一に力をかけてください。また、ケーブルを接続する前に、両方のコネクタが同じ方向を向き、きちんと並んでいることを確認してください。


 **メモ:** お使いのコンピュータの色および一部のコンポーネントは、本書で示されているものと異なる場合があります。

コンピュータの損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を始める前に、次の手順を実行してください。


1. コンピュータのカバーに傷がつかないように、作業台が平らであり、汚れていないことを確認します。
2. コンピュータの電源を切ります（「コンピュータの電源を切る」を参照）。
3. コンピュータがオプションのメディアベースまたはバッテリースライスなど、ドッキングデバイス（ドック）に接続されている場合、ドックから外します。


 **注意:** ネットワークケーブルを外すには、まずケーブルのプラグをコンピュータから外し、次にケーブルをネットワークデバイスから外します。

4. コンピュータからすべてのネットワークケーブルを外します。
5. コンピュータおよび取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから外します。
6. ディスプレイを閉じ、平らな作業台の上でコンピュータを裏返します。

 **メモ:** システム基板の損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を行う前にメインバッテリーを取り外してください。


7. メインバッテリーを取り外します。
8. コンピュータを表向きにします。
9. ディスプレイを開きます。
10. 電源ボタンを押して、システム基板の静電気を除去します。

 **注意:** 感電防止のため、ディスプレイを開く前に、必ずコンセントからコンピュータの電源プラグを抜いてください。

 **注意:** コンピュータの内部に触れる前に、コンピュータの裏面など塗装されていない金属面に触れ、静電気を除去します。作業中は定期的に塗装されていない金属面に触れ、内部コンポーネントを損傷する恐れのある静電気を放出してください。

11. 適切なスロットから、取り付けられている ExpressCard または Smart Card を取り外します。

コンピューターの電源を切る


 **注意:** データの損失を防ぐため、コンピューターの電源を切る前に、開いているファイルはすべて保存して閉じ、実行中のプログラムはすべて終了してください。

1. オペレーティングシステムをシャットダウンします。

- In Windows 8:


– タッチパネル入力を有効にするデバイスの用法:

a. 画面の右端からスワイプし、チャームメニューを開き、**Settings**(設定)を選択します。


b.  を選択し、続いて**シャットダウン**を選択します。

– マウスの用法:

a. 画面の右上隅をポイントし、**Settings** (設定) をクリックします。

b. ライセンス情報を展開または折りたたむには、、**Shut down** (シャットダウン) を選択します。

- Windows 7 の場合 :

1. **スタート** をクリックします。  をクリックします。

2. **Shut Down** (シャットダウン) をクリックします。

または

1. **スタート** をクリックします。  をクリックします。

- 次に、以下に示す **Start** (スタート) メニューの右下の矢印をクリックし、**Shut Down** (シャット



トダウン) をクリックします。

2. コンピューターと取り付けられているデバイスすべての電源が切れていることを確認します。オペレーティングシステムをシャットダウンしてもコンピューターとデバイスの電源が自動的に切れない場合は、電源ボタンを約 4 秒間押し続けて電源を切ります。

コンピューター内部の作業を終えた後に

交換 (取り付け) 作業が完了したら、コンピューターの電源を入れる前に、外付けデバイス、カード、ケーブルなどを接続したか確認してください。

△ 注意: コンピュータを損傷しないために、この特定の Dell コンピュータのために設計されたバッテリーのみを使用します。他の Dell コンピュータのために設計されたバッテリーは使用しないでください。

1. ポートレプリケーター、バッテリースライス、メディアベースなどの外部デバイスを接続し、ExpressCard などのカードを交換します。
2. 電話線、またはネットワークケーブルをコンピューターに接続します。

△ 注意: ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルをネットワークデバイスに差し込み、次にコンピューターに差し込みます。

3. バッテリーを取り付けます。
4. コンピューター、および取り付けられているすべてのデバイスをコンセントに接続します。
5. コンピューターの電源を入れます。

コンポーネントの取り外しと取り付け

このセクションには、お使いのコンピューターからコンポーネントを取り外し、取り付ける手順についての詳細な情報が記載されています。

奨励するツール

この文書で説明する操作には、以下のツールが必要です。

- 細めのマイナスドライバー
- #0 プラスドライバ
- #1 プラスドライバ
- 小型のプラスチックスクライブ

システムの概要

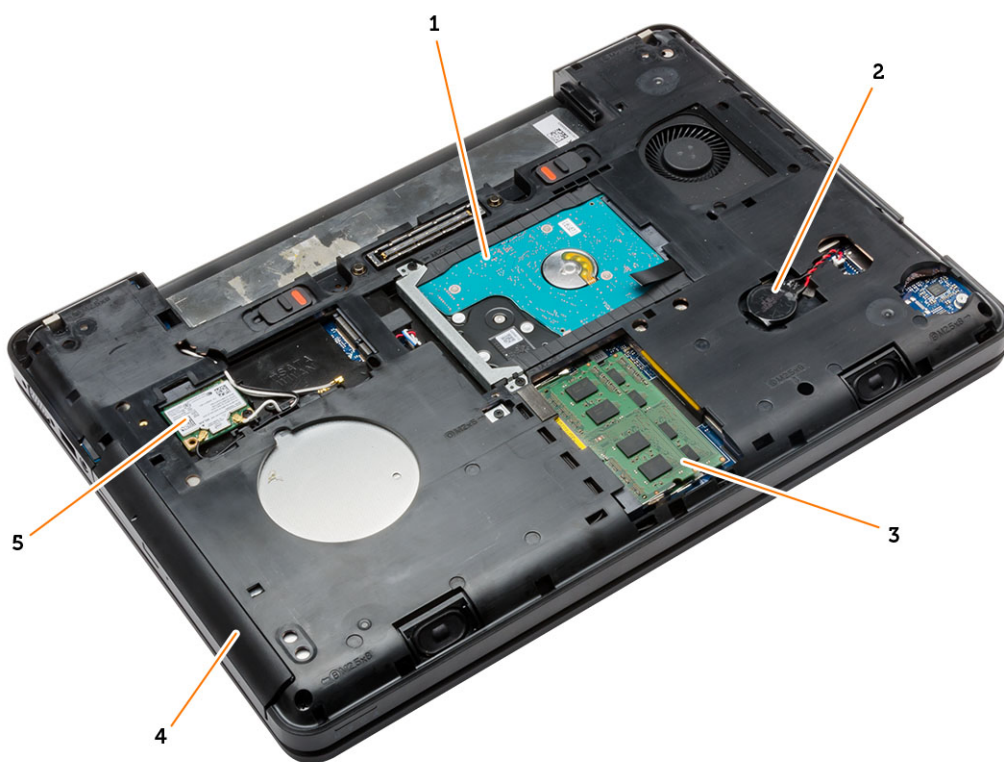


図 1. 内部図 - 背面

- | | |
|---------------------------|---------------|
| 1. アイソレーションキャップ付きのハードドライブ | 2. コイン型電池 |
| 3. メモリモジュール | 4. オプティカルドライブ |
| 5. WLAN カード | |

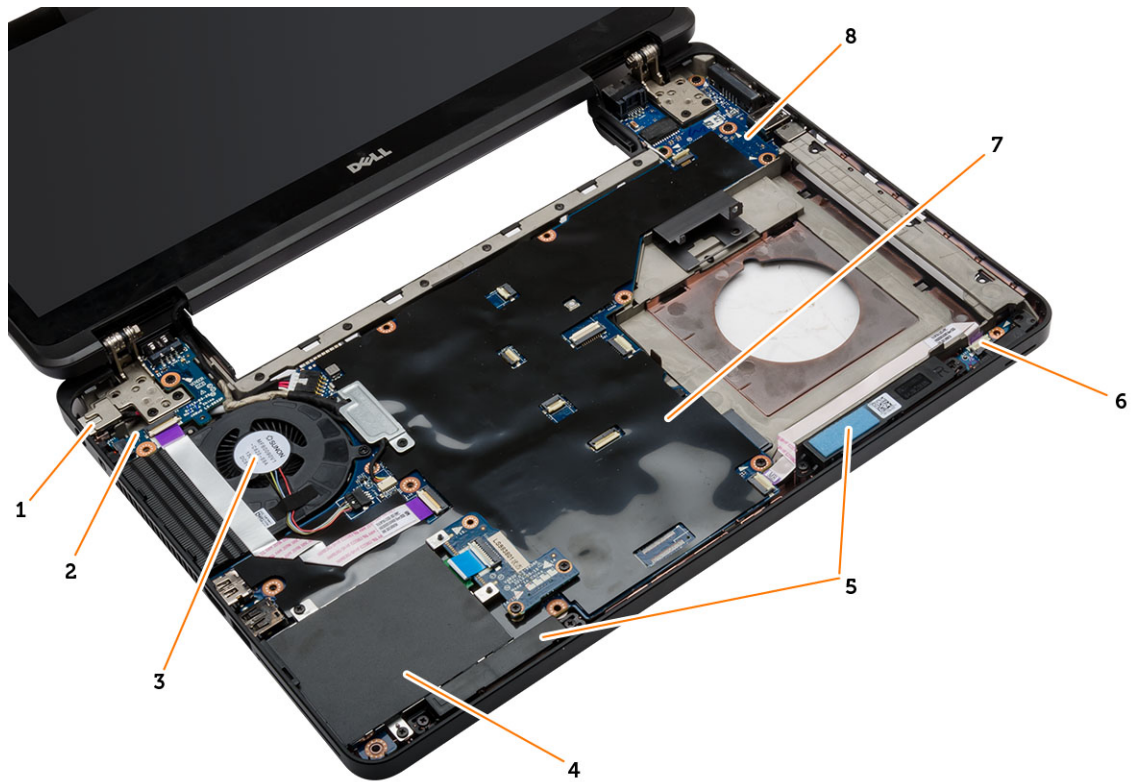
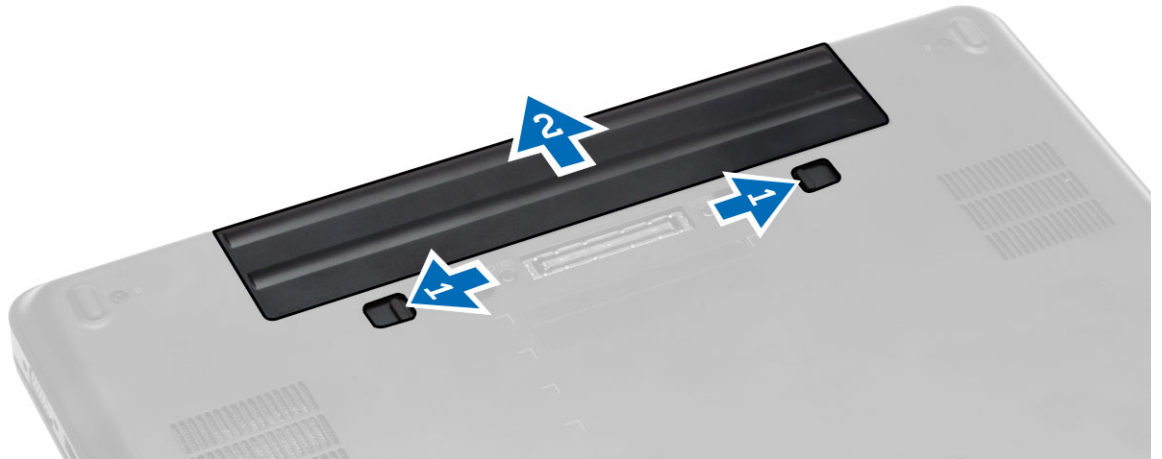


図 2. 内部図－前面

- | | |
|------------|--------------------|
| 1. 電源コネクタ | 2. I/O ボード (左) |
| 3. システムファン | 4. ExpressCard ケージ |
| 5. スピーカ | 6. ステータスライトボード |
| 7. システム基板 | 8. I/O ボード (右) |

バッテリーの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次の手順を実行します。
 - a. バッテリーリリースラッチをアンロック位置にスライドさせます。
 - b. バッテリーを押して、コンピュータから取り外します。



バッテリーの取り付け

1. カチッと所定の位置に収まるまで、バッテリーをスロットに挿入します。
2. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

SD カードの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. SD カードを押し込んでアンロックします。
3. SD カードをコンピュータから引き出します。

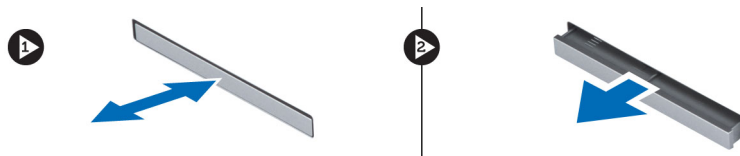


SD カードの取り付け

1. 所定の位置にカチッと収まるまで、SD カードをスロットに押し込みます。
2. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ExpressCard の取り外し

1. 「コンピュータの作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次の手順を実行します。
 - a. ExpressCard カードを押し込んで、コンピュータから解除します [1]。
 - b. ExpressCard をコンピュータから引き出します [2]。

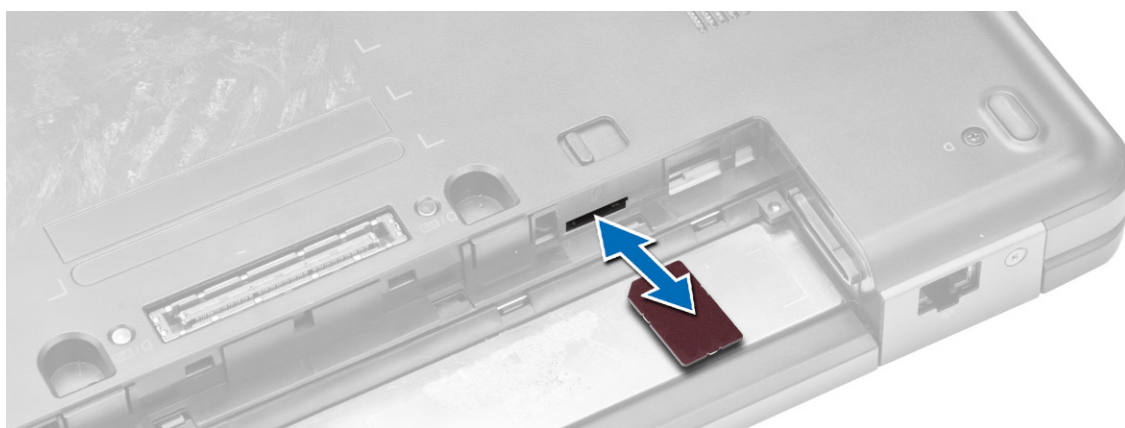



ExpressCard の取り付け

1. カチッと所定の位置に収まるまで、ExpressCard をスロットに差し込みます。
2. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

SIM カードの取り外し

1. 「コンピュータの作業を始める前に」の手順に従います。
2. バッテリーを取り外します。
3. バッテリーウォールにある SIM カードを押してロックを解除します。
4. SIM カードをコンピュータから引き出します。



 **メモ:** コンピュータの SIM スロットはマイクロ SIM のみサポートしています。

SIM カードの取り付け

1. SIM カードをスロットに差し込みます。
2. バッテリーを取り付けます。
3. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ディスプレイベゼルの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. バッテリーを取り外します。
3. 次の手順を実行します。
 - a. ディ스플레이ベゼルの下端を持ち上げます。
 - b. ディ스플레이ベゼルの側面と上端も同じようにして持ち上げます。



4. ディスプレイベゼルをコンピュータから取り外します。

ディスプレイbezルの取り付け

1. ディスプレイベゼルをディスプレイアセンブリに載せます。
2. ディスプレイbezルの上端を最初に押し込み、ディスプレイアセンブリに完全にはまるまでbezル全体を押し込みます。
3. バッテリーを取り付けます。
4. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

ディスプレイパネルの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. バッテリー
 - b. ディスプレイbezル
3. ディスプレイパネルを固定しているネジを外して、パネルを裏返します。



4. 次の手順を実行します。

- a. 透明シートテープを剥し、低電圧差動信号（LVDS）ケーブルをディスプレイパネルの背面から外します。
- b. ディ스플레이パネルをディスプレイアセンブリから取り外します。

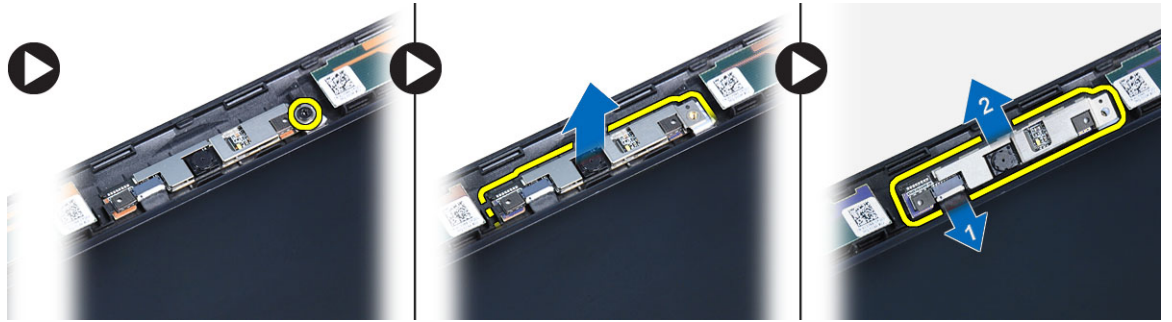


ディスプレイパネルの取り付け

1. ディ스플레이パネルをディスプレイアセンブリにセットします。
2. ディ스플레이パネルを元の位置に合わせます。
3. 低電圧差動信号（LVDS）ケーブルをディスプレイパネルに接続し、テープを取り付けます。
4. ディ스플레이パネルを裏返し、ネジを締めてディスプレイパネルを固定します。
5. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. ディ스플레이ベゼル
 - b. バッテリー
6. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

カメラの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. バッテリー
 - b. ディ스플레이ベゼル
3. 次の手順を実行します。
 - a. カメラ/マイクモジュールを固定しているネジを外します。
 - b. カメラケーブルを外します。
 - c. カメラ/マイクモジュールを持ち上げて取り外します。

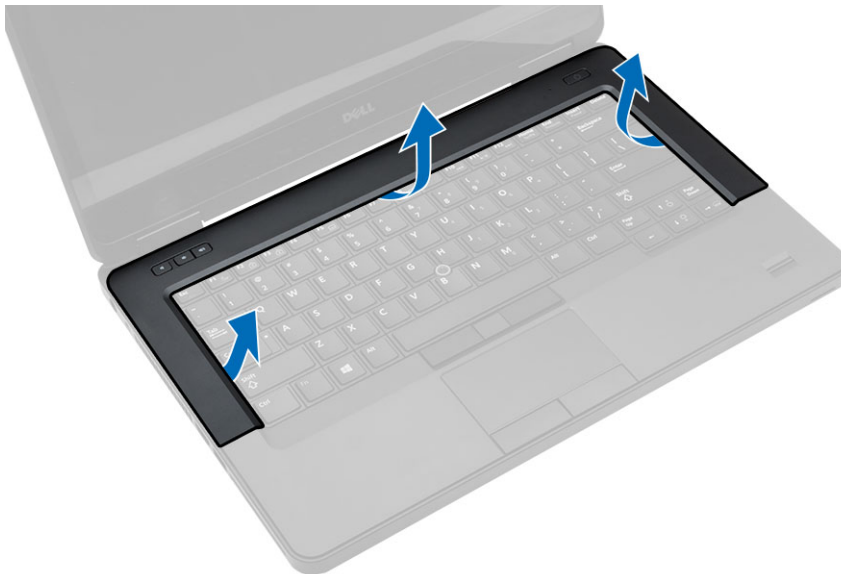


カメラの取り付け

1. カメラとマイクモジュールを所定の位置に置きます。
2. カメラケーブルを接続します。
3. ネジを締めてカメラとマイクモジュールを固定します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. ディスプレイベゼル
 - b. バッテリー
5. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

キーボードトリムの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. バッテリーを取り外します。
3. 次の手順を実行します。
 - a. キーボードトリムの両端と上端を取り出します。
 - b. キーボードトリムを持ち上げてコンピュータから取り外します。



キーボードトリムの取り付け

1. キーボードトリムを所定の位置に合わせます。
2. カチッと所定の位置に収まるまで、キーボードトリムの両端を押し込みます。



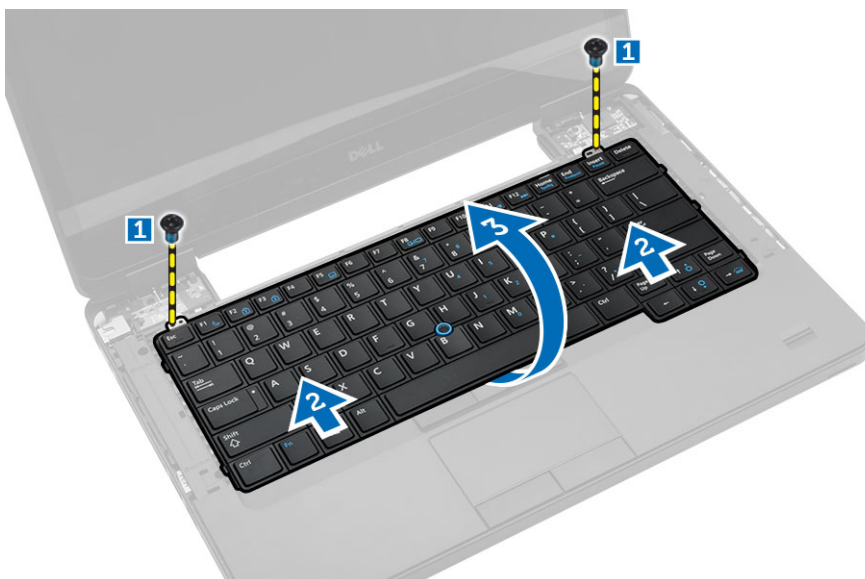
3. バッテリーを取り付けます。
4. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

キーボードの取り外し

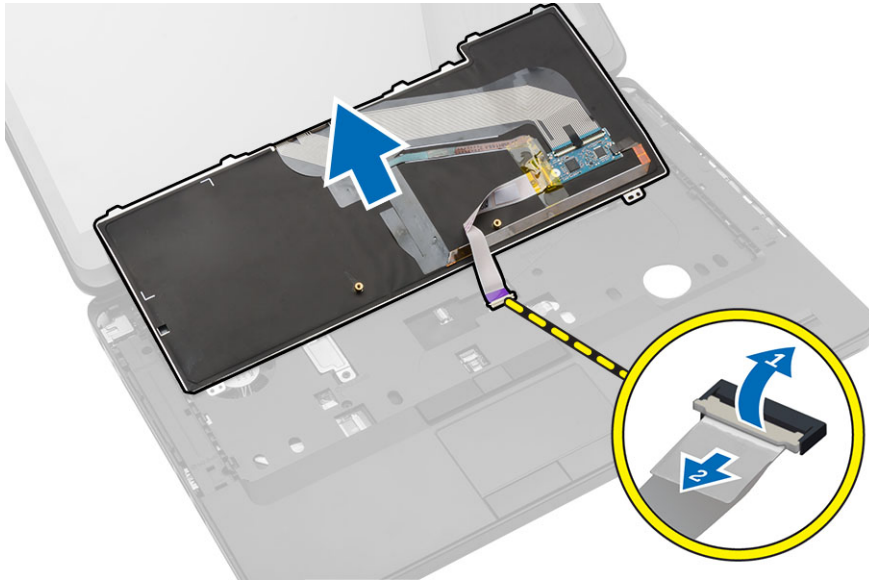
1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. バッテリー
 - b. キーボードトリム
3. コンピュータの背面のネジを外して、コンピュータを裏返します。



4. キーボードを固定しているネジを外し [1]、キーボードを持ち上げて [2]、コンピュータから取り外します [3]。



5. キーボードケーブルを外して、キーボードをコンピュータから取り外します。

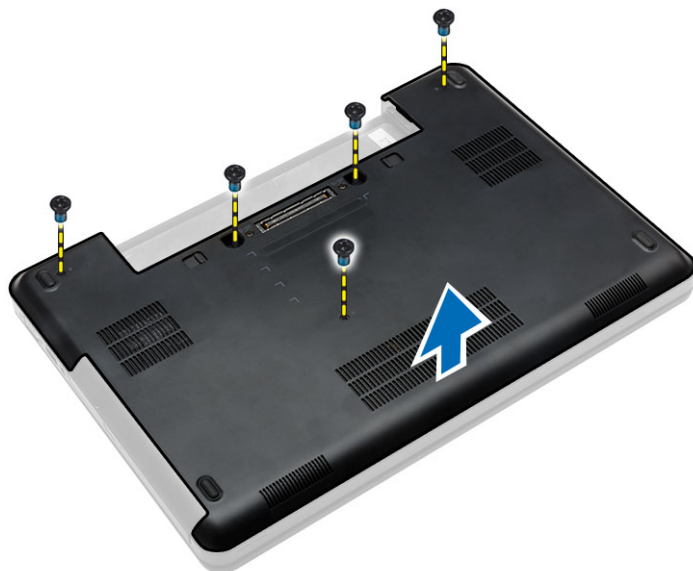


キーボードの取り付け

1. キーボードケーブルをキーボードに接続します。
2. すべての金属製タブが所定の位置に収まるように、キーボードを所定の位置にセットします。
3. キーボードの左右を押し下げて、すべての留め具がコンピュータと完全に噛み合っていることを確認します。
4. ネジを取り付けて、キーボードをパームレストに固定します。
5. コンピュータの背面にネジを取り付けます。
6. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. キーボードトリム
 - b. バッテリー
7. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ベースカバーの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. バッテリーを取り外します。
3. 次の手順を実行します。
 - a. ベースカバーを固定しているネジを外します。
 - b. ベースカバーをシステムの前方に引き出し、コンピュータから取り外します。



ベースカバーの取り付け

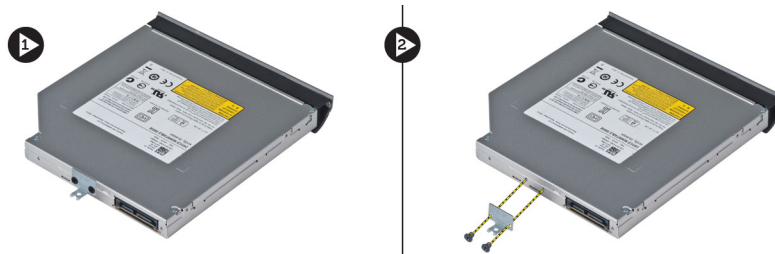
1. 所定の位置にカチッと収まるまで、ベースカバーをスロットに差し込みます。
2. ベースカバーをコンピュータに固定するネジを取り付けます。
3. バッテリーを取り付けます。
4. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

オプティカルドライブの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. バッテリー
 - b. ベースカバー
3. 次の手順を実行します。
 - a. オプティカルドライブをコンピュータに固定しているネジを外します。
 - b. オプティカルドライブを押し出して、コンピュータから取り外します。



4. オプティカルドライブブラケットを取り外してから、次の手順を実行します。
 - a. オプティカルドライブブラケットを固定しているネジを外します[1]。
 - b. オプティカルドライブブラケットをオプティカルドライブから取り外します[2]。



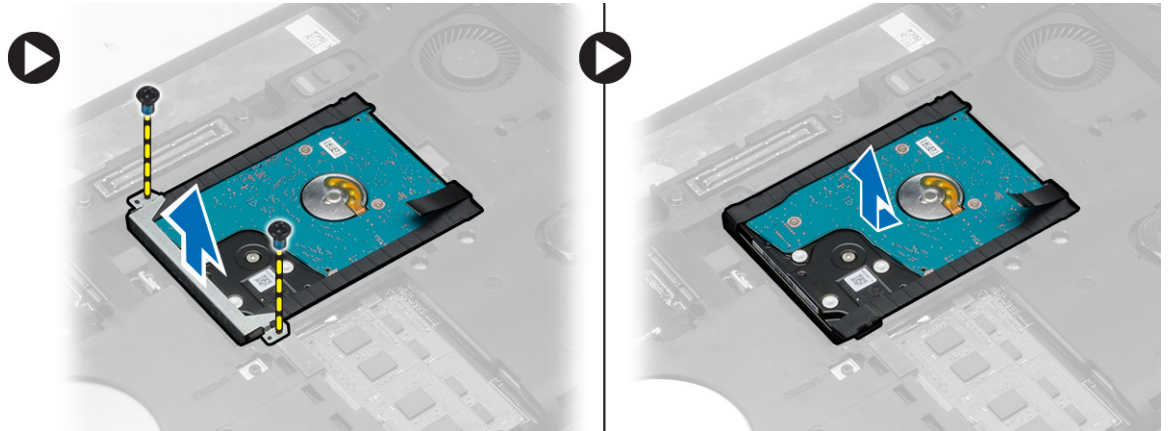
5. オプティカルドライブベゼルのタブを外して、オプティカルドライブベゼルのオプティカルドライブから離します。
6. オプティカルドライブベゼルを取り外します。

オプティカルドライブの取り付け

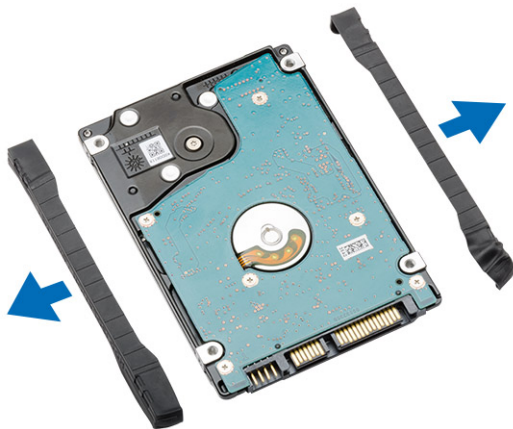
1. オプティカルドライブベゼルのタブをはめ込み、オプティカルドライブに取り付けます。
2. オプティカルドライブブラケットを取り付けます。
3. オプティカルドライブブラケットを固定するネジを締めます。
4. オプティカルドライブをコンピュータに挿入します。
5. ネジを締めて、オプティカルドライブを所定の位置に固定します。
6. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. ベースカバー
 - b. バッテリー
7. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ハードドライブの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. バッテリー
 - b. ベースカバー
3. 次の手順を実行します。
 - a. ハードドライブブラケットを所定の位置に固定しているネジを外します。
 - b. ハードドライブを引き出して、コネクタから取り外します。

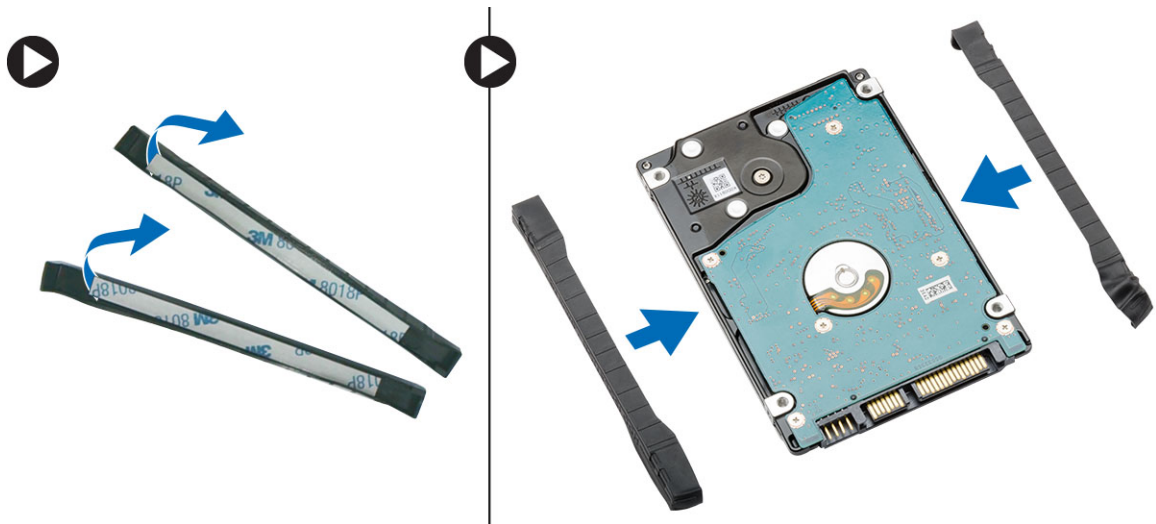


4. ハードドライブアイソレーションのキャップをハードドライブから取り外します。



ハードドライブの取り付け

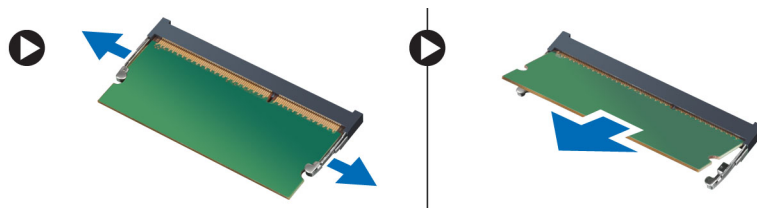
1. ハードドライブアイソレーションのキャップをハードドライブにはめ込みます。



2. ハードドライブを所定のコネクタにセットします。
3. ハードドライブブラケットをハードドライブに置き、ネジを締めてハードドライブブラケットを所定の位置に固定します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. ベースカバー
 - b. バッテリー
5. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

メモリモジュールの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. バッテリー
 - b. ベースカバー
3. メモリモジュールが持ち上がるまで、固定クリップを引き出します。
4. メモリモジュールを持ち上げてコンピュータから取り出します。



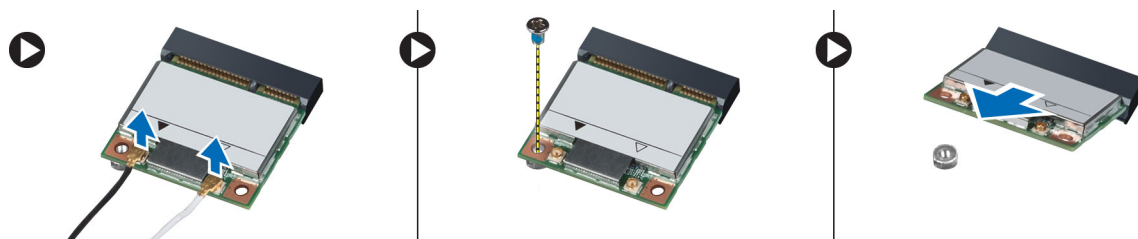
メモリモジュールの取り付け

1. メモリをメモリソケットに挿入します。
2. クリップを押して、メモリモジュールをシステム基板に固定します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. ベースカバー
 - b. バッテリー

4. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

WLAN カードの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. バッテリー
 - b. ベースカバー
3. 次の手順を実行します。
 - a. アンテナケーブルを WLAN カードから外します。
 - b. WLAN カードをコンピュータに固定しているネジを外します。
 - c. WLAN カードをシステム基板上のスロットから取り外します。

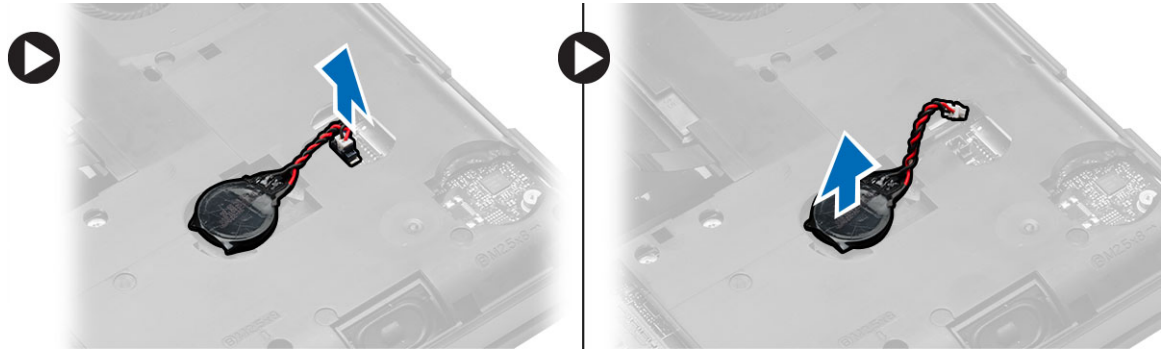


WLAN カードの取り付け

1. WLAN カードをシステム基板の所定のコネクタに差し込みます。
2. WLAN カードに記された対応コネクタにアンテナケーブルを接続します。
3. WLAN カードをコンピュータに固定するネジを締めます。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. ベースカバー
 - b. バッテリー
5. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

コイン型電池の取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. バッテリー
 - b. ベースカバー
3. 次の手順を実行します。
 - a. コイン型電源ケーブルをシステム基板から外します。
 - b. コイン型電池をてこの作用で開け、接着剤から取り外します。



コイン型電池の取り付け

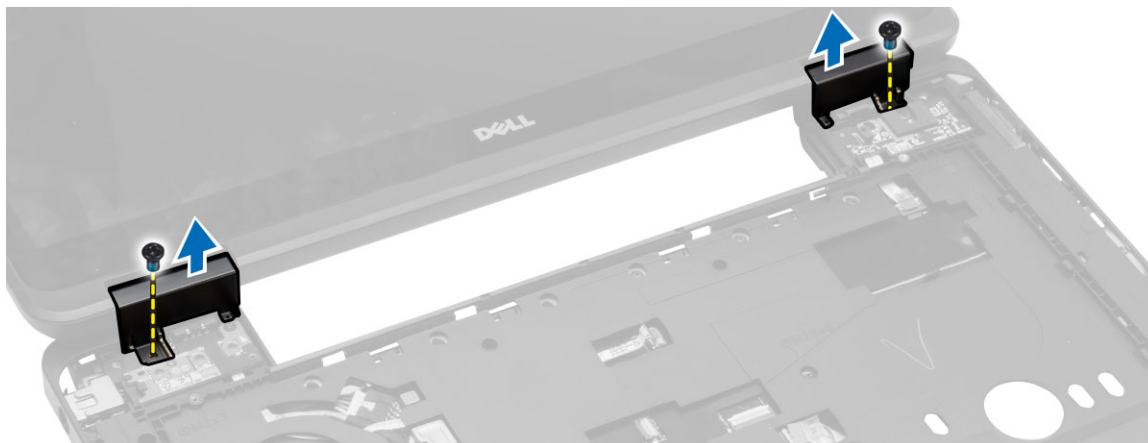
1. 粘着剤が付いている側を下向きにしてコイン型電池をシステム基板に載せます。
2. コイン型電池ケーブルをシステム基板に接続します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. ベースカバー
 - b. バッテリー
4. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ディスプレイヒンジの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. バッテリー
 - b. ベースカバー
 - c. キーボードトリム
 - d. キーボード
3. ディスプレイヒンジをコンピュータの背面に固定しているネジを外します。



4. ディスプレイヒンジをコンピュータの前面に固定しているネジを外します。ディスプレイヒンジを押し、コンピュータから取り外します。



ディスプレイヒンジの取り付け

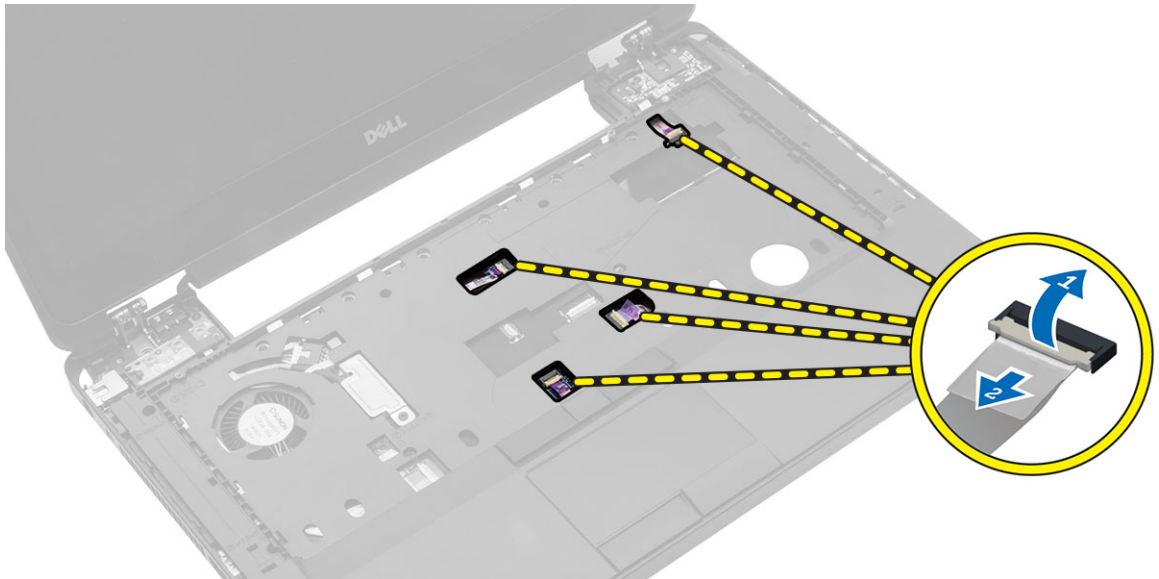
1. ディスプレイヒンジをコンピュータに置きます。
2. ネジを締めて、ディスプレイヒンジをコンピュータの前面と背面に固定します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. キーボード
 - b. キーボードトリム
 - c. ベースカバー
 - d. バッテリー
4. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

パームレストの取り外し

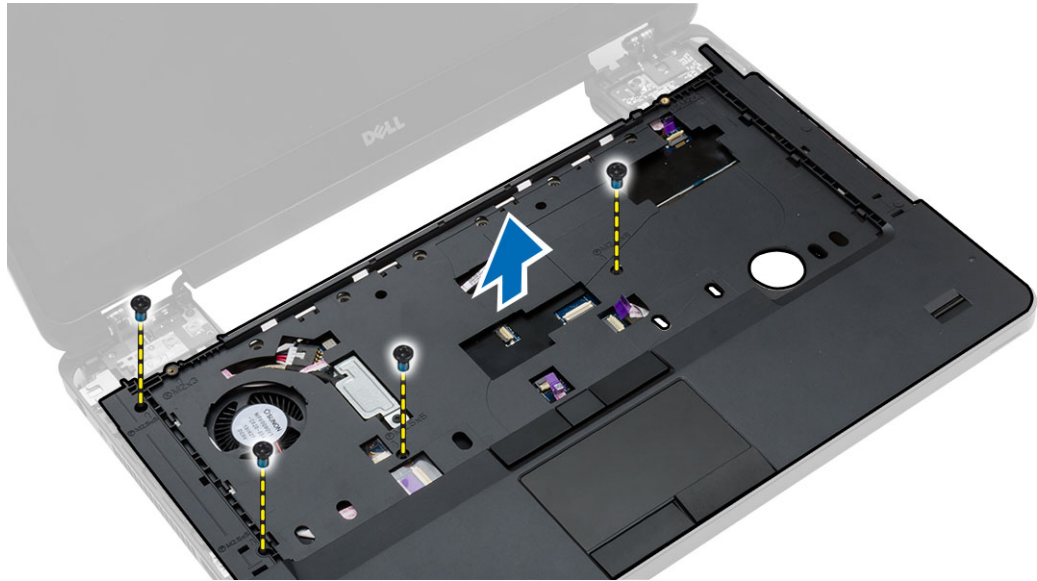
1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. SD カード
 - b. バッテリー
 - c. ベースカバー
 - d. キーボードトリム
 - e. キーボード
 - f. メモリ
 - g. オプティカルドライブ
 - h. ハードドライブ
 - i. ディスプレイヒンジ
3. コンピュータ底部のネジを外します。



4. 次のケーブルを外します。
 - a. メディアボタンケーブル
 - b. タッチパッドケーブル
 - c. 指紋スキャナーケーブル
 - d. 電源ボタンケーブル



5. 次の手順を実行します。
 - a. パームレストをコンピュータに固定しているネジを外します。
 - b. パームレストを持ち上げて、コンピュータから取り外します。



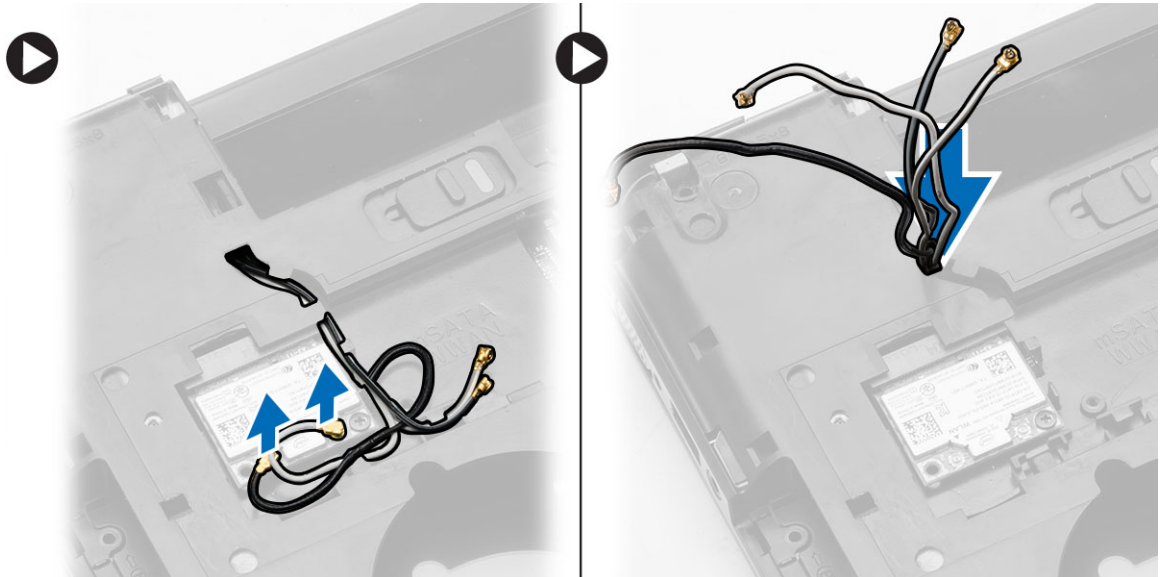
パームレストの取り付け

1. パームレストアセンブリをコンピュータの元の位置に合わせ、そこにはめ込みます。
2. 以下のケーブルをシステム基板に接続します。
 - a. 電源ボタンケーブル
 - b. 指紋スキャナーケーブル
 - c. タッチパッドケーブル
 - d. メディアボタンケーブル
3. ネジを締めてパームレストをコンピュータの前面と背面に固定します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. ディスプレイヒンジ
 - b. ハードドライブ
 - c. オプティカルドライブ
 - d. メモリ
 - e. キーボード
 - f. キーボードトリム
 - g. ベースカバー
 - h. バッテリー
 - i. SD カード
5. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

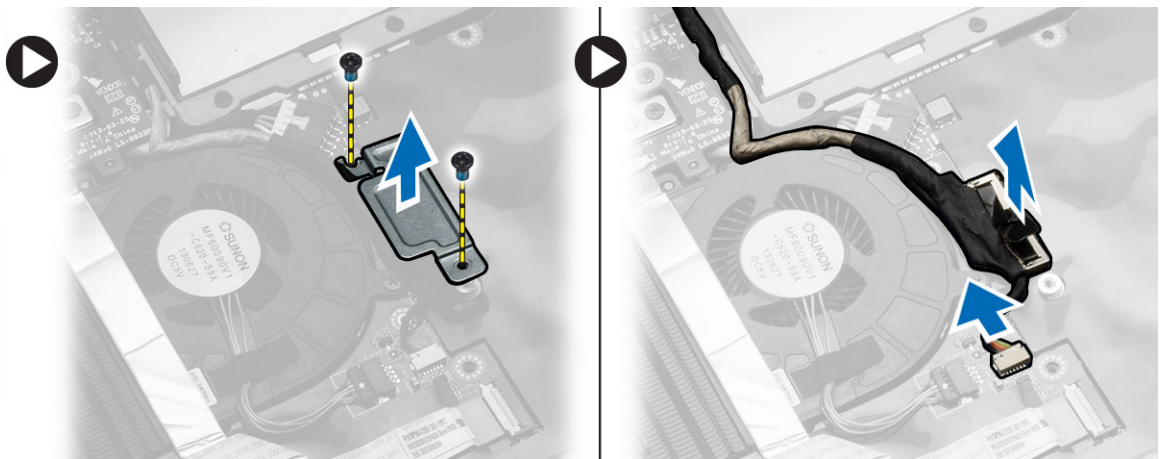
ディスプレイアセンブリの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. SD カード
 - b. バッテリー
 - c. ベースカバー

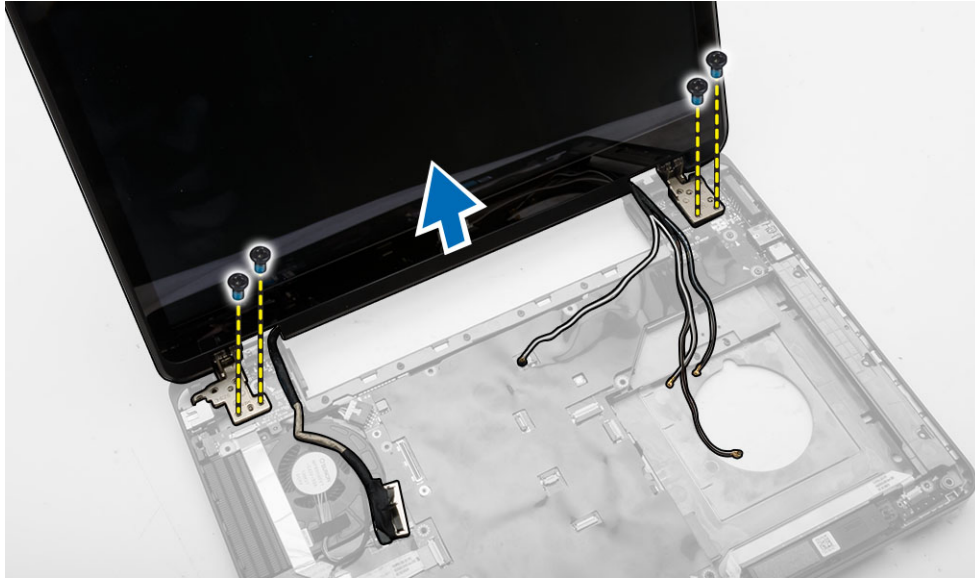
- d. キーボードトリム
 - e. キーボード
 - f. ディスプレイヒンジ
 - g. パームレスト
3. WLAN ケーブルを外して、配線チャンネルから取り外します。



4. 次の手順を実行します。
- a. ディスプレイケーブルコネクタを固定しているネジを外し、システム基板から取り外します。
 - b. システム基板からディスプレイケーブルを外します。



5. ディスプレイアセンブリを所定の位置に固定しているネジを外し、コンピュータから持ち上げて取り外します。



メモ: 上記のディスプレイアセンブリの取り外し手順は、コンピュータのタッチパネルおよびノンタッチパネルのどちらのバージョンにも適用できます。

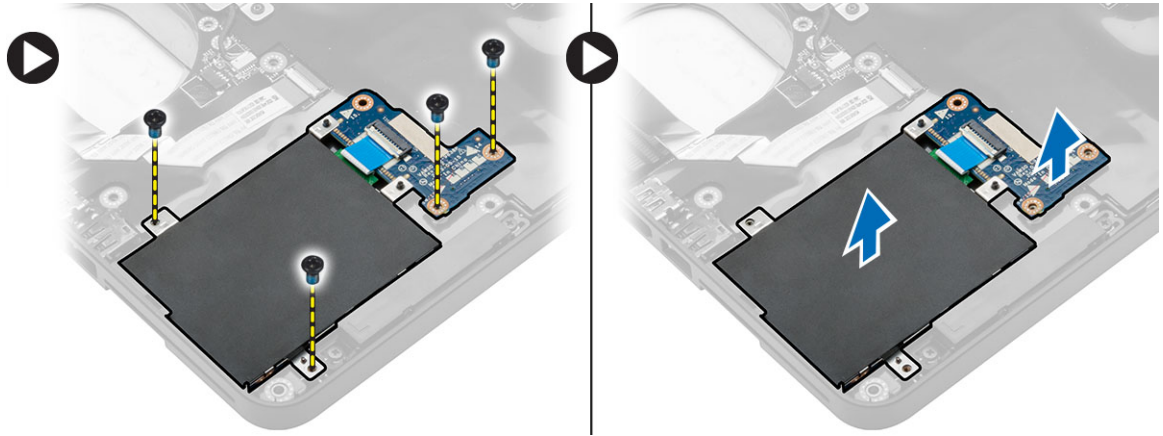
ディスプレイアセンブリの取り付け

1. ディスプレイアセンブリを所定の位置に固定するネジを締めます。
2. WLAN ケーブルをシャーシの穴に差し込みます。
3. ディスプレイケーブルをコンパートメントに沿って配線し、システム基板のコネクタに接続します。
4. WLAN ケーブルをコネクタに接続します。
5. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. パームレスト
 - b. ディスプレイヒンジ
 - c. キーボード
 - d. キーボードトリム
 - e. ベースカバー
 - f. バッテリー
 - g. SD カード
6. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ExpressCard ケージの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. SD カード
 - b. バッテリー
 - c. ベースカバー
 - d. キーボードトリム
 - e. キーボード

- f. ディスプレイヒンジ
 - g. パームレスト
3. 次の手順を実行します。
- a. ExpressCard ケージを固定しているネジを外します。
 - b. ExpressCard ケージを持ち上げてコンピュータから取り外します。



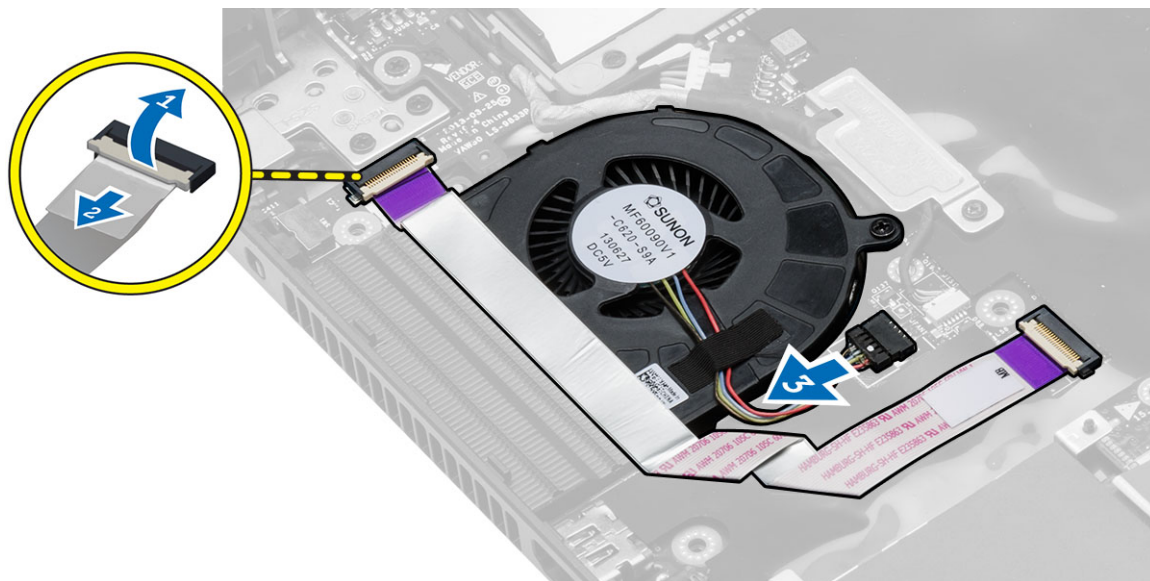
ExpressCard ケージの取り付け

1. ExpressCard ケージをコンピュータの元の位置に合わせ、そこにはめ込みます。
2. ExpressCard ケージをシステム基板に固定するネジを取り付けます。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. パームレスト
 - b. ディスプレイヒンジ
 - c. キーボード
 - d. キーボードトリム
 - e. ベースカバー
 - f. バッテリー
 - g. SD カード
4. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

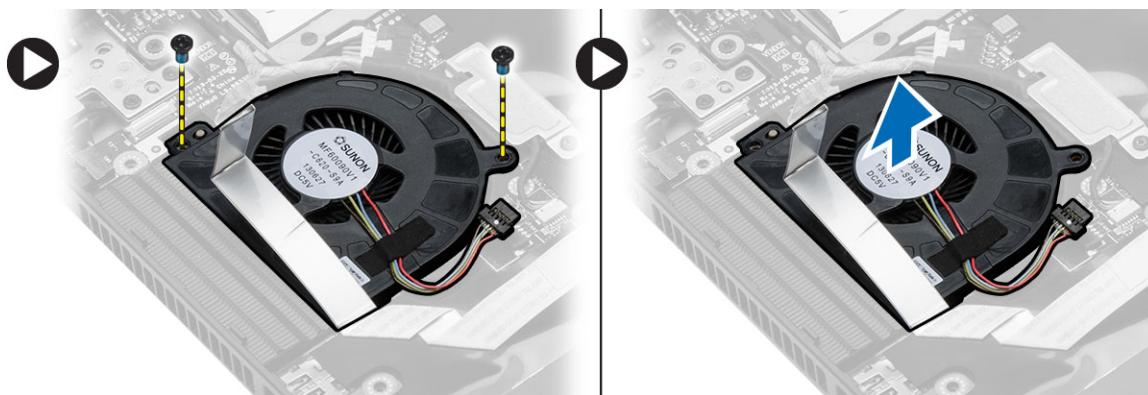
システムファンの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. SD カード
 - b. バッテリー
 - c. ベースカバー
 - d. キーボードトリム
 - e. キーボード
 - f. メモリ
 - g. オプティカルドライブ
 - h. ハードドライブ
 - i. ディスプレイヒンジ

- j. パームレスト
- 3. 次のケーブルを外します。
 - a. システムファンケーブル
 - b. I/O ボードケーブル



- 4. システムファンを固定しているねじを外し、システムファンを持ち上げてコンピュータから取り外します。



システムファンの取り付け

- 1. システムファンをコンピュータ上にセットします。
- 2. システムファンケーブルをシステム基板に接続します。
- 3. I/O ボードケーブルをコネクタに接続します。
- 4. ネジを締めてシステムファンをコンピュータに固定します。
- 5. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. パームレスト
 - b. ディスプレイヒンジ
 - c. メモリ
 - d. ハードドライブ

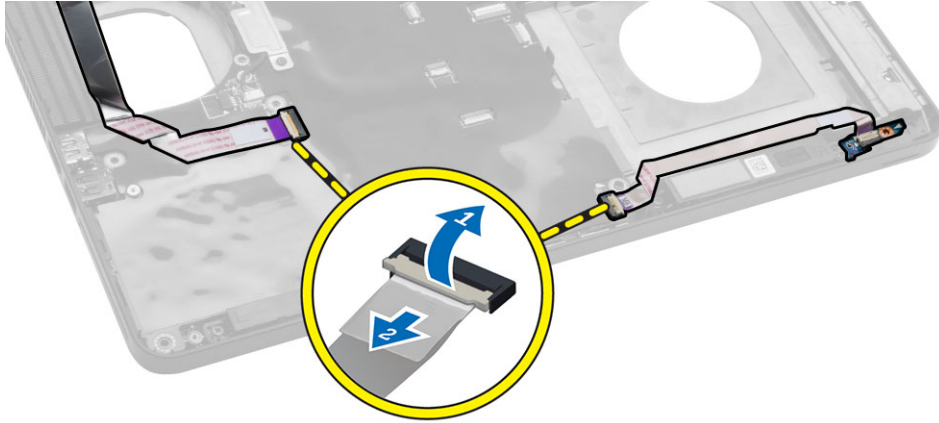
- e. オプティカルドライブ
 - f. キーボード
 - g. キーボードトリム
 - h. ベースカバー
 - i. バッテリー
 - j. SD カード
6. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

システム基板の取り外し

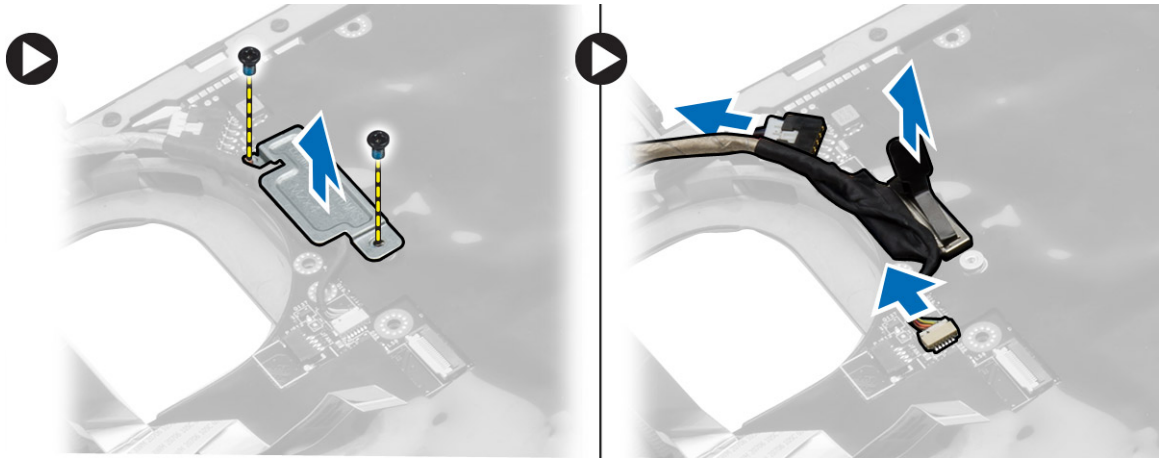
1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. SD カード
 - b. バッテリー
 - c. ベースカバー
 - d. キーボードトリム
 - e. キーボード
 - f. メモリ
 - g. オプティカルドライブ
 - h. ハードドライブ
 - i. WLAN カード
 - j. ディスプレイヒンジ
 - k. パームレスト
 - l. システムファン
 - m. ExpressCard ケージ
3. 次のケーブルを外します。
 - a. コイン型電池ケーブル
 - b. スピーカケーブル



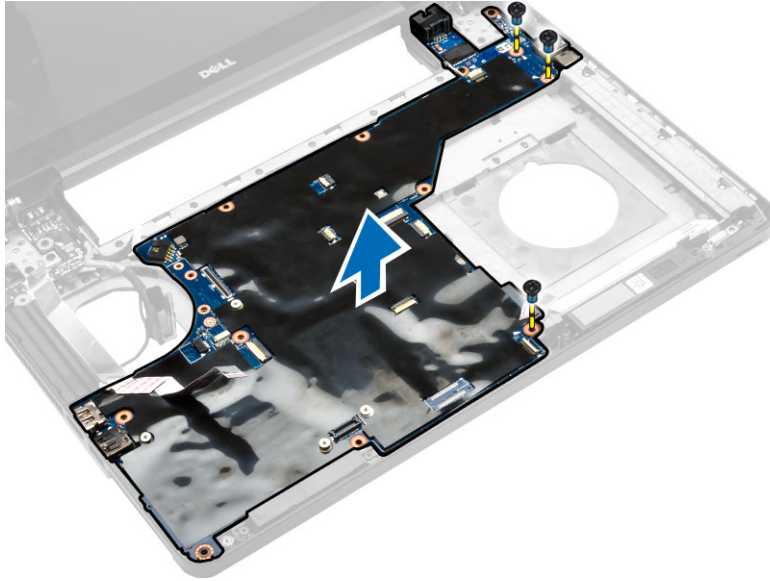
4. コンピュータを裏返して次のケーブルを外します。
 - a. 電源ケーブル
 - b. ステータスライトボードケーブル
 - c. I/O ボードケーブル



5. 次の手順を実行します。
- a. ディスプレイケーブルコネクタを固定しているネジを外し、システム基板から取り外します。
 - b. ディスプレイケーブルと電源コネクタケーブルをシステム基板から外します。



6. システム基板を固定しているネジを外し、システム基板を持ち上げてコンピュータから取り外します。

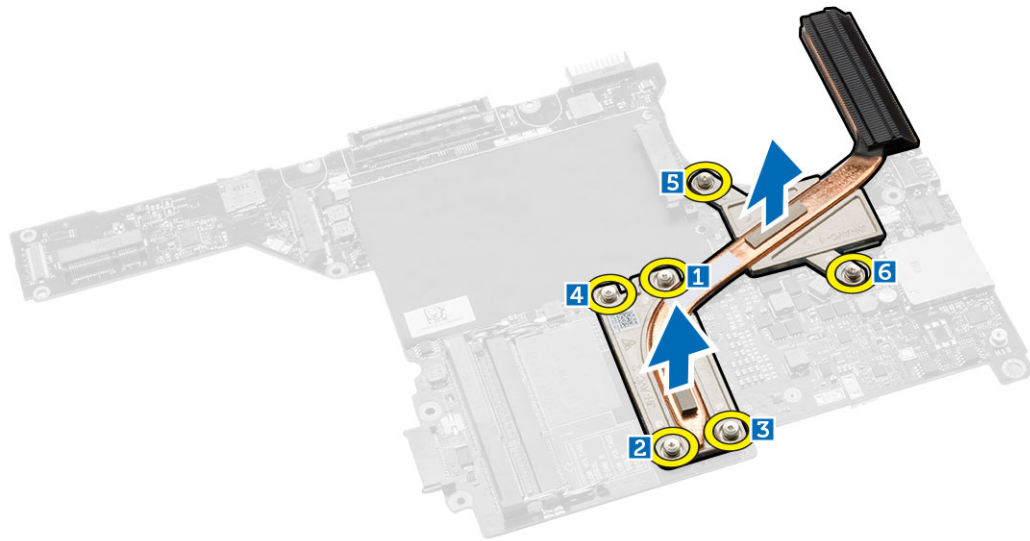


システム基板の取り付け

1. システム基板をコンピュータの元の位置に合わせます。
2. システム基板をコンピュータに固定するネジを取り付けて締めます。
3. 以下のケーブルを接続します。
 - a. I/O ボードケーブル
 - b. 電源コネクタケーブル
 - c. ステータスライトボードケーブル
4. コンピュータを裏返して、コイン型電池ケーブルとスピーカーケーブルをシステム基板に接続します。
5. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. ExpressCard ケージ
 - b. システムファン
 - c. パームレスト
 - d. ディスプレイヒンジ
 - e. WLAN カード
 - f. ハードドライブ
 - g. オプティカルドライブ
 - h. メモリ
 - i. キーボード
 - j. キーボードトリム
 - k. ベースカバー
 - l. バッテリー
 - m. SD カード
6. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ヒートシンクの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. SD カード
 - b. バッテリー
 - c. ベースカバー
 - d. キーボードトリム
 - e. キーボード
 - f. メモリ
 - g. オプティカルドライブ
 - h. ハードドライブ
 - i. WLAN カード
 - j. ディスプレイヒンジ
 - k. パームレスト
 - l. システムファン
 - m. ExpressCard ケージ
 - n. システム基板
3. 次の手順を実行します。
 - a. ヒートシンクを所定の位置に固定しているネジを外します。
 - b. ヒートシンクを持ち上げて、コンピュータから取り外します。



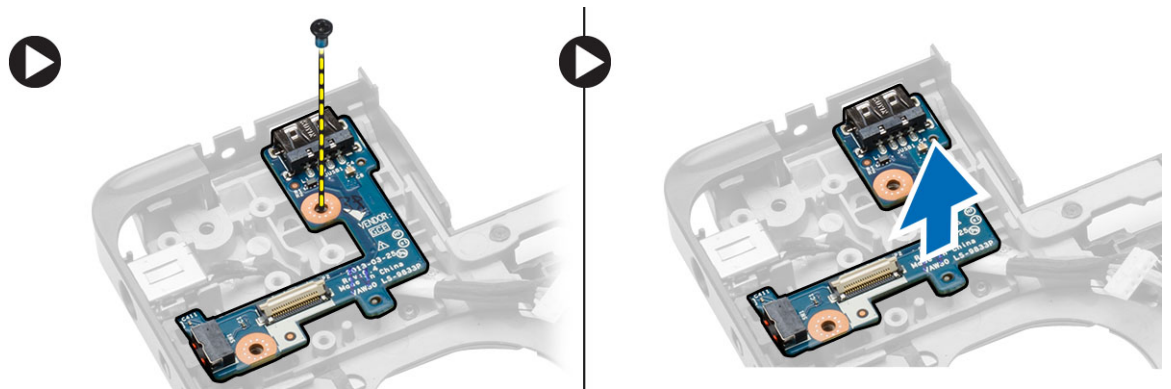
ヒートシンクの取り付け

1. システム基板にヒートシンクをセットします。
2. ネジを締めてヒートシンクをコンピュータに固定します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. システム基板
 - b. ExpressCard ケージ

- c. システムファン
 - d. パームレスト
 - e. ディスプレイヒンジ
 - f. WLAN カード
 - g. ハードドライブ
 - h. オプティカルドライブ
 - i. メモリ
 - j. キーボード
 - k. キーボードトリム
 - l. ベースカバー
 - m. バッテリー
 - n. SD カード
4. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

I/O ボード (左) の取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. SD カード
 - b. バッテリー
 - c. ベースカバー
 - d. キーボードトリム
 - e. キーボード
 - f. メモリ
 - g. オプティカルドライブ
 - h. ハードドライブ
 - i. WLAN カード
 - j. ディスプレイヒンジ
 - k. パームレスト
 - l. システムファン
 - m. ExpressCard ケージ
 - n. システム基板
3. 次の手順を実行します。
 - a. 左 I/O ボードをコンピュータに固定しているネジを外します。
 - b. I/O ボードを持ち上げて、コンピュータから取り外します。

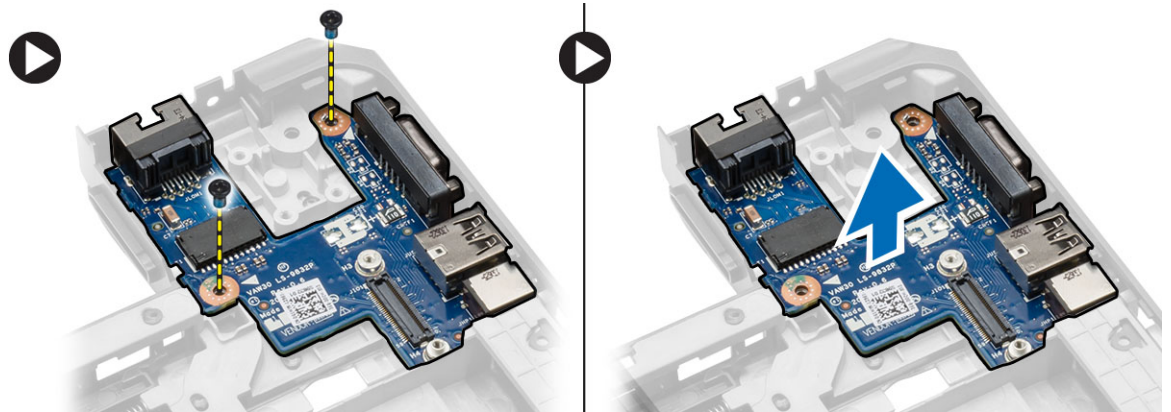


I/O ボード (左) の取り付け

1. I/O ボードをコンピュータに置きます。
2. ネジを締めて I/O ボードをコンピュータに固定します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. システム基板
 - b. ExpressCard ケージ
 - c. システムファン
 - d. パームレスト
 - e. ディスプレイヒンジ
 - f. WLAN カード
 - g. ハードドライブ
 - h. オプティカルドライブ
 - i. メモリ
 - j. キーボード
 - k. キーボードトリム
 - l. ベースカバー
 - m. バッテリー
 - n. SD カード
4. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

I/O ボード (右) の取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. SD カード
 - b. バッテリー
 - c. ベースカバー
 - d. キーボードトリム
 - e. キーボード
 - f. メモリ
 - g. オプティカルドライブ
 - h. ハードドライブ
 - i. WLAN カード
 - j. ディスプレイヒンジ
 - k. パームレスト
 - l. システムファン
 - m. ExpressCard ケージ
 - n. システム基板
3. 次の手順を実行します。
 - a. I/O ボードをコンピュータに固定しているネジを外します。
 - b. I/O ボードを持ち上げて、コンピュータから取り外します。



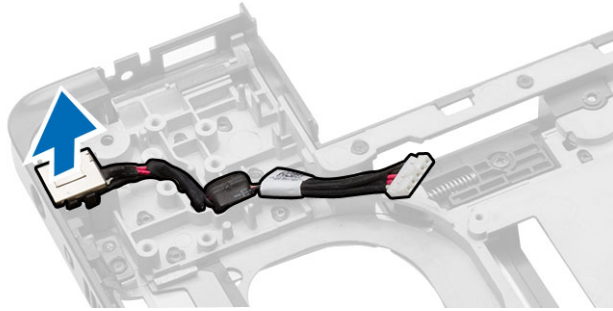
I/O ボード (右) の取り付け

1. I/O ボードをコンピュータに置きます。
2. ネジを締めて I/O ボードをコンピュータに固定します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. システム基板
 - b. ExpressCard ケージ
 - c. システムファン
 - d. パームレスト
 - e. ディスプレイヒンジ
 - f. WLAN カード
 - g. ハードドライブ
 - h. オプティカルドライブ
 - i. メモリ
 - j. キーボード
 - k. キーボードトリム
 - l. ベースカバー
 - m. バッテリー
 - n. SD カード
4. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の順に従います。

電源コネクタの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. SD カード
 - b. バッテリー
 - c. ベースカバー
 - d. キーボードトリム
 - e. キーボード
 - f. メモリ
 - g. ハードドライブ
 - h. オプティカルドライブ

- i. WLAN カード
 - j. ディスプレイヒンジ
 - k. パームレスト
 - l. ExpressCard ケージ
 - m. システムファン
 - n. システム基板
3. 次の手順を実行します。
- a. 電源コネクタケーブルを配線チャンネルから外します。
 - b. 電源コネクタを持ち上げて、コンピュータから取り外します。



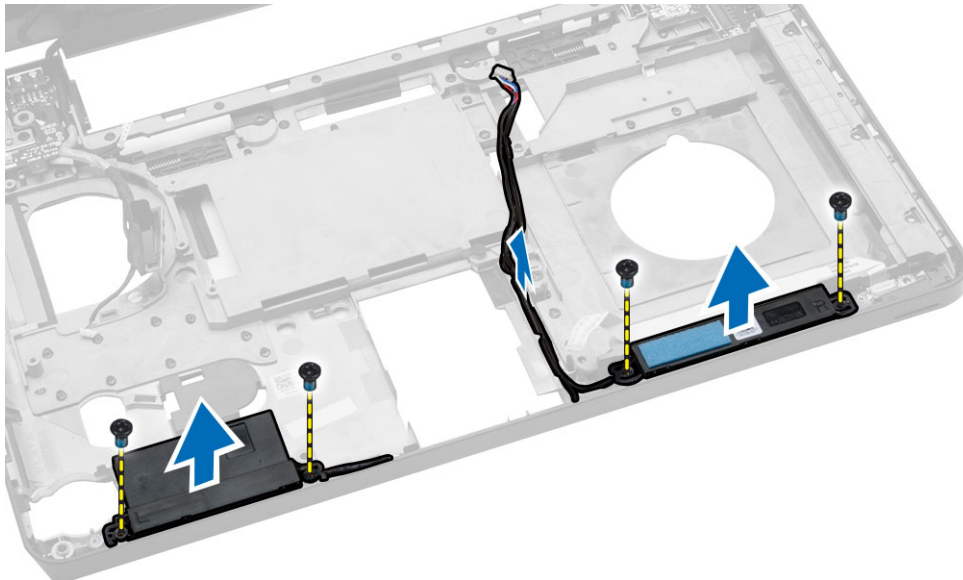
電源コネクタの取り付け

1. 電源コネクタをコンピュータの所定の位置にセットします。
2. 電源コネクタケーブルを配線チャンネルに配線します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. システム基板
 - b. システムファン
 - c. ExpressCard ケージ
 - d. パームレスト
 - e. ディスプレイヒンジ
 - f. WLAN カード
 - g. ハードドライブ
 - h. オプティカルドライブ
 - i. メモリ
 - j. キーボード
 - k. キーボードトリム
 - l. ベースカバー
 - m. バッテリー
 - n. SD カード
4. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

スピーカの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. SD メモリカード
 - b. バッテリー

- c. ベースカバー
 - d. キーボードトリム
 - e. キーボード
 - f. メモリ
 - g. オプティカルドライブ
 - h. ハードドライブ
 - i. WLAN カード
 - j. ディスプレイヒンジ
 - k. パームレスト
 - l. システムファン
 - m. ExpressCard ケージ
 - n. システム基板
3. 次の手順を実行します。
- a. スピーカケーブルを配線チャンネルから外します。
 - b. スピーカをコンピュータに固定しているネジを外します。
 - c. スピーカを持ち上げて、コンピュータから取り外します。



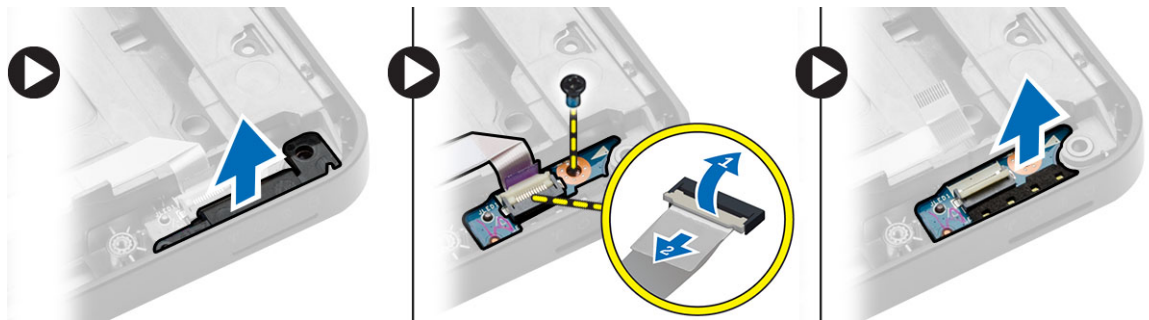
スピーカの取り付け

1. スピーカをコンピュータに置きます。
2. スピーカケーブルを配線チャンネルに固定します。
3. ネジを締めてスピーカをコンピュータに固定します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. システム基板
 - b. ExpressCard ケージ
 - c. システムファン
 - d. パームレスト
 - e. ディスプレイヒンジ
 - f. WLAN カード

- g. ハードドライブ
 - h. オプティカルドライブ
 - i. メモリ
 - j. キーボード
 - k. キーボードトリム
 - l. ベースカバー
 - m. バッテリー
 - n. SD カード
5. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ステータスライトボードの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. SD カード
 - b. バッテリー
 - c. ベースカバー
 - d. キーボードトリム
 - e. キーボード
 - f. メモリ
 - g. オプティカルドライブ
 - h. ハードドライブ
 - i. WLAN カード
 - j. ディスプレイヒンジ
 - k. パームレスト
 - l. システムファン
 - m. ExpressCard ケージ
 - n. システム基板
 - o. スピーカ
3. 次の手順を実行します。
 - a. LED カバーを取り外します。
 - b. ステータスライトボードケーブルを外して、ステータスライトボードを固定しているネジを外します。
 - c. ステータスライトボードを持ち上げて、コンピュータから取り外します。



ステータスライトボードの取り付け

1. ステータスライトボードをコンピュータの所定の位置にセットします。
2. ステータスライトボードケーブルをコネクタに接続します。
3. ネジを締めて、ステータスライトボードをコンピュータに固定します。
4. LED カバーをステータスライトボードに置きます。
5. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. スピーカ
 - b. システム基板
 - c. システムファン
 - d. ExpressCard ケージ
 - e. パームレスト
 - f. ディ스플레이ヒンジ
 - g. WLAN カード
 - h. ハードドライブ
 - i. オプティカルドライブ
 - j. メモリ
 - k. キーボード
 - l. キーボードトリム
 - m. ベースカバー
 - n. バッテリー
 - o. SD カード
6. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

システムセットアップ

システムセットアップでコンピューターのハードウェアを管理し BIOS レベルのオプションを指定することができます。システムセットアップで以下の操作が可能です:

- ハードウェアの追加または削除後に NVRAM 設定を変更する。
- システムハードウェアの構成を表示する。
- 統合されたデバイスの有効 / 無効を切り替える。
- パフォーマンスと電力管理のしきい値を設定する。
- コンピューターのセキュリティを管理する。

起動順序

起動順序ではシステムセットアップで定義された起動デバイスの順序および起動ディレクトリを特定のデバイス (例: オプティカルドライブまたはハードドライブ) にバイパスすることができます。パワーオンセルフテスト (POST) 中に、Dell のロゴが表示されたら、以下の操作が可能です:

- <F2> を押してシステムセットアップにアクセスする
- <F12> を押して 1 回限りの起動メニューを立ち上げる

1 回限りの起動メニューでは診断オプションを含むオプションから起動可能なデバイスを表示します。起動メニューのオプションは以下の通りです:

- リムーバブルドライブ (利用可能な場合)
- STXXXX ドライブ
 - **メモ:** XXX は、SATA ドライブの番号を意味します。
- オプティカルドライブ
- 診断
 - **メモ:** 診断を選択すると **ePSA 診断** 画面が表示されます。


起動順序画面ではシステムセットアップ画面にアクセスするオプションを表示することも可能です。

ナビゲーションキー

以下の表ではセットアップユーティリティのナビゲーションキーを示しています。

- **メモ:** ほとんどのセットアップユーティリティオプションで、変更内容は記録されますが、システムを再起動するまでは有効になりません。

表 1. ナビゲーションキー

キー	ナビゲーション
上矢印	前のフィールドに移動します。
下矢印	次のフィールドへ移動します。
<Enter>	選択したフィールドに値を入力するか（該当する場合）、フィールド内のリンクに移動することができます。
スペースバー	ドロップダウンリストがある場合は、展開したり折りたたんだりします。
<Tab>	次のフォーカス対象領域に移動します。  メモ: 標準グラフィックブラウザ用に限られます。
<Esc>	メイン画面が表示されるまで、前のページに戻ります。メイン画面で <Esc> を押すと、未保存の変更を保存するプロンプトが表示され、システムが再起動します。
<F1>	セットアップユーティリティのヘルプファイルを表示します。

セットアップユーティリティのオプション


 **メモ:** お使いのコンピューターおよび取り付けられているデバイスによっては、本項に一覧表示された項目の一部がない場合があります。


表 2. 一般

オプション	説明
System Information	このセクションには、コンピューターの主要なハードウェア機能が一覧表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> System Information (システム情報) : BIOS Version (BIOS バージョン)、Service Tag (サービスタグ)、Asset Tag、Ownership Tag (所有者タグ)、Ownership Date (購入日)、Manufacture Date (製造日)、Express Service Code (エクスプレスサービスコード) が表示されます。 Memory Information (メモリ情報) : Memory Installed (搭載容量)、Memory Available (使用可能な容量)、Memory Speed (速度)、Memory Channels Mode (チャネルモード)、Memory Technology (テクノロジー)、DIMM A Size (DIMM A のサイズ)、DIMM B Size (DIMM B のサイズ) が表示されます。 Processor Information (プロセッサ情報) : Processor Type (種類)、Core Count (コア数)、Processor ID (ID)、Current Clock Speed (現在のクロックスピード)、Minimum Clock Speed (最小クロックスピード)、Maximum Clock Speed (最大クロックスピード)、Processor L2 Cache (プロセッサ L2 キャッシュ)、Processor L3 Cache (プロセッサ L3 キャッシュ)、HT Capable (HT 対応)、64-Bit Technology (64 ビットテクノロジー) が表示されます。 Device Information (デバイス情報) : Primary Hard Drive (プライマリハードドライブ)、MiniCard Device (MiniCard デバイス)、ODD Device (ODD デバイス)、Dock eSATA Device (eSATA ドッキングデバイス)、LOM MAC Address (LOM MAC アドレス)、Video Controller (ビデオコントローラ)、Video BIOS Version (ビデオ BIOS バージョン)、Video Memory (ビデオメモリ)、Panel Type (パネルのタイプ)、Native Resolution (ネイティブ解像度)、Audio Controller (オーディオコントローラ)、Wi-Fi Device (Wi-Fi デバイス)、WiGig Device (WiGig デバイス)、Cellular Device (携帯電話デバイス)、Bluetooth Device (Bluetooth デバイス) が表示されます。
Battery Information	バッテリー状態とコンピューターに接続されている AC アダプタのタイプが表示されます。

オプション	説明
Boot Sequence	<p>Boot Sequence</p> <p>コンピュータがオペレーティングシステムを認識する順序を変更することができます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Diskette Drive (ディスクドライブ) • Internal HDD • USB Storage Device (USB ストレージデバイス) • CD/DVD/CD-RW Drive (CD/DVD/CD-RW ドライブ) • Onboard NIC (オンボード NIC) <p>デフォルトでは、すべてのオプションがチェックされています。また、オプションの選択を解除または起動順序を変更できます。</p>
	<p>Boot List Option</p> <p>起動リストオプションを変更することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Legacy (レガシー) • UEFI
Advanced Boot Options	<p>このオプションを使用すると、レガシーオプション ROM をロードできます。 Enable Legacy Option ROM (レガシーオプション ROM を有効にする) はデフォルトでチェックが外されています。</p>
Date/Time	<p>日付と時刻を変更することができます。</p>

表 3. System Configuration (システム設定)

オプション	説明
Integrated NIC	<p>統合ネットワークコントローラを設定することができます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 無効 • 有効 • Enabled w/PXE (PXE 付で有効)：このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
Parallel Port	<p>ドッキングステーションの平行ポートを設定することができます。オプションは以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 無効 • AT: このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • PS2 • ECP
Serial Port	<p>内蔵シリアルポートを設定することができます。オプションは以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 無効 • COM1: このオプションはデフォルトで有効に設定されています。

オプション	説明
SATA Operation	<ul style="list-style-type: none"> • COM2 • COM3 • COM4 <p>内蔵 SATA ハードドライブコントローラを設定することができます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 無効 • AHCI • RAID On (RAID オン) : このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
Drives	<p>オンボードの SATA ドライブを設定することができます。すべてのドライブがデフォルトで有効に設定されています。オプションは以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • SATA-0 • SATA-1 • SATA-2 • SATA-3
SMART Reporting	<p>このフィールドにより、システム起動時に内蔵ドライブのハードドライブエラーを報告するかどうかを決めます。このテクノロジーは、SMART (Self Monitoring Analysis and Reporting Technology) 仕様の一部です。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable SMART Reporting (SMART レポートを有効にする)
USB Configuration	<p>このフィールドでは、内蔵 USB コントローラを設定します。Boot Support (起動サポート) が有効の場合、システムはあらゆる種類の USB 大容量ストレージデバイス (HDD、メモリキー、フロッピー) から起動することができます。</p> <p>USB ポートが有効の場合、このポートに接続されたデバイスは有効で、OS で利用できます。</p> <p>USB ポートが無効の場合、OS はこのポートに接続されたデバイスを認識できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable Boot Support (起動サポートを有効にする) • Enable External USB Port (外部 USB ポートを有効にする) • Enable USB3.0 Controller (USB3.0 コントローラを有効にする) <p> メモ: USB キーボードおよびマウスは、この設定に関係なく BIOS セットアップで常に動作します。</p>
Audio	<p>このフィールドでは、内蔵オーディオコントローラを有効または無効に設定します。デフォルトでは Enable Audio (オーディオを有効にする) オプションが選択されています。</p>
Keyboard Illumination	<p>このフィールドでは、キーボードライト機能の動作モードを設定できます。</p>


オプション	説明
	<p>キーボードの輝度レベルは 25 ~ 100 パーセントの間で設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Disabled (無効) • Level is 25% (レベル 25%) • Level is 50% (レベル 50%) • Level is 75% (レベル 75%) • Level is 100% (レベル 100%) : このオプションはデフォルトでは有効になっています
Unobtrusive Mode	<p>このオプションが有効になっている場合、Fn+B を押すと、システム内のすべてのライトとサウンドエミッションがオンになります。通常の操作を再開するには、Fn+B を再度押します。このオプションはデフォルトでは無効になっています。</p>
Miscellaneous Devices	<p>以下のデバイスの有効 / 無効を切り替えることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable Microphone (マイクを有効にする) • Enable Camera (カメラを有効にする) • Enable Express card (Express カードを有効にする) • Enable Hard Drive Free Fall Protection (ハードドライブ落下保護を有効にする) • Enable Media Card (メディアカードを有効にする) • Disable Media Card (メディアカードを無効にする) <p> メモ: すべてのデバイスがデフォルトで有効に設定されています。</p> <p>メディアカードの有効 / 無効を切り替えることもできます。</p>

表 4. ビデオ







オプション	説明
LCD Brightness	<p>電源 (バッテリーおよび AC) に応じてディスプレイの輝度を設定することができます。</p> <p> メモ: ビデオ設定はビデオカードがシステムに取り付けられている場合にのみ表示されます。</p>

表 5. セキュリティ

オプション	説明
Admin Password	<p>管理者 (Admin) パスワードを設定、変更、または削除することができます。</p> <p> メモ: システムパスワードまたはハードドライブパスワードを設定する前に、Admin パスワードを設定する必要があります。Admin パスワードを削除すると、システムパスワードとハードドライブパスワードは自動的に削除されます。</p> <p> メモ: パスワードが正常に変更されると、すぐに反映されます。</p>

オプション	説明
System Password	<p>デフォルト設定 : Not set (未設定)</p> <p>システムパスワードを設定、変更、または削除することができます。</p> <p> メモ: パスワードが正常に変更されると、すぐに反映されます。</p> <p>デフォルト設定 : Not set (未設定)</p>
Internal HDD-1 Password	<p>システムの内蔵ハードディスクドライブを設定または変更することができます。</p> <p> メモ: パスワードが正常に変更されると、すぐに反映されます。</p> <p>デフォルト設定 : Not set (未設定)</p>
Strong Password	<p>強力なパスワードを設定するオプションを常に強制することができます。</p> <p>デフォルト設定 : Enable Strong Password (強力なパスワードを有効にする) は選択されません。</p> <p> メモ: Strong Password (強力なパスワード) を有効に設定すると、Admin パスワードとシステムパスワードに大文字と小文字をそれぞれ少なくとも 1 文字使い、8 文字以上の長さにしなければなりません。</p>
Password Configuration	<p>Administrator パスワードとシステムパスワードの最小および最大文字数を設定することができます。</p>
Password Bypass	<p>システムパスワードと内蔵 HDD パスワードが設定されている場合に、これらのパスワードをスキップする許可を有効または無効にすることができます。オプションは次の通りです。</p> <ul data-bbox="592 1094 1015 1157" style="list-style-type: none"> • 無効 • Reboot bypass (再起動のスキップ) <p>デフォルト設定 : Disabled (無効)</p>
Password Change	<p>管理者パスワードが設定されている場合、システムパスワードとハードドライブパスワードへの許可を、有効または無効にすることができます。</p> <p>デフォルト設定 : Allow Non-Admin Password Changes (管理者以外のパスワード変更を許可する) は選択されていない</p>
Non-Admin Setup Changes	<p>Administrator パスワードが設定されている場合に、セットアップオプションの変更を許可するかどうかを決めることができます。無効に設定すると、セットアップオプションは Admin パスワードによってロックされます。</p>
TPM Security	<p>POST 中に、TPM (Trusted Platform Module) を有効にすることができます。</p> <p>デフォルト設定 : オプションは無効に設定されています。</p>
Computrace	<p>オプションである Computrace ソフトウェアを起動または無効にすることができます。オプションは次の通りです。</p> <ul data-bbox="592 1755 951 1787" style="list-style-type: none"> • Deactivate (非アクティブ化)


オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> 無効 Activate (アクティブ化) <p> メモ: Activate (起動) および Disable (無効) オプションでは、機能を永久的に起動または無効にします。その後の変更はできません。</p> <p>Deactivate (非アクティブ化) (デフォルト)</p>
CPU XD Support	<p>プロセッサの Execute Disable (実行無効) モードを有効にすることができます。</p> <p>Enable CPU XD Support (CPU XD サポートを有効にする) (デフォルト)</p>
OROM Keyboard Access	<p>起動中にホットキーを使用して、Option ROM Configuration (オプションROM 設定) 画面を表示するオプションを設定することができます。オプションは以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 有効 One Time Enable (1 回のみ有効) 無効 <p>デフォルト設定 : Enable (有効)</p>
Admin Setup Lockout	<p>管理者パスワードが設定されている場合、ユーザーによるセットアップユーティリティの起動を防止することができます。</p> <p>Default Setting (デフォルト設定) : Enable Admin Setup Lockout (Admin セットアップロックアウトを有効にする) は選択されていません。</p>

表 6. Secure Boot

オプション	説明
Secure Boot Enable	<p>このオプションは、安全起動機能を有効または無効にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> Disable (無効) (デフォルト) 有効
Expert Key Management	<p>システムが Custom Mode (カスタムモード) の場合のみ、セキュリティキーデータベースを操作できます。 Enable Custom Mode (カスタムモードを有効にする) オプションはデフォルトで無効に設定されています。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> PK KEK db dbx <p>Custom Mode (カスタムモード) を有効にすると、PK、KEK、db、および dbx の関連オプションが表示されます。このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> Save to File (ファイルに保存) - ユーザーが選択したファイルにキーを保存します。



オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> • Replace from File (ファイルから交換) - 現在のキーをユーザーが選択したファイルのキーと交換します。 • Append from File (ファイルから追加) - ユーザーが選択したファイルから現在のデータベースにキーを追加します。 • Delete (削除) - 選択したキーを削除します。 • Reset All Keys (すべてのキーをリセット) - デフォルト設定にリセットします。 • Delete All Keys (すべてのキーを削除) - すべてのキーを削除します。 <p> メモ: Custom Mode (カスタムモード) を無効にすると、すべての変更が消去され、キーはデフォルト設定に復元されます。</p>

表 7. パフォーマンス

オプション	説明
Multi Core Support	<p>このフィールドでは、プロセッサで有効になるコアの数 (1 個または全部) を指定します。アプリケーションによっては、コアを追加することで性能が向上します。このオプションはデフォルトで有効に設定されています。プロセッサのマルチコアサポートの有効 / 無効を切り替えることができます。オプションは以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • すべて • 1 • 2 <p>デフォルト設定 : All (すべて)</p>
Intel SpeedStep	<p>Intel SpeedStep 機能を有効または無効にすることができます。</p> <p>デフォルト設定 : Enable Intel SpeedStep (Intel SpeedStep を有効にする)</p>
C States Control	<p>追加プロセッサのスリープ状態を有効または無効にすることができます。</p> <p>デフォルト設定 : オプションの C ステートは有効です。</p>
Intel TurboBoost	<p>プロセッサの Intel TurboBoost モードを有効または無効にすることができます。</p> <p>デフォルト設定 : Enable Intel TurboBoost (Intel TurboBoost を有効にする)</p>
Hyper-Thread Control	<p>ハイパースレッドをプロセッサで有効または無効にすることができます。</p> <p>デフォルト設定 : Enabled (有効)</p>
Rapid Start Technology	<p>このオプションでは、ユーザーが指定した時間が経過したら自動的にスリープ中のシステムを低電源状態にすることで、バッテリーの寿命を延ばします。</p> <p>デフォルト設定 : Disabled (無効)</p>

表 8. 電源管理

オプション	説明
AC Behavior	AC アダプタが接続されるとコンピュータの電源が自動的にオンになる機能を有効または無効にすることができます。 デフォルト設定 : Wake on AC (ウェイクオン AC) は選択されていません。
Auto On Time	コンピュータが自動的に起動する時刻を設定することができます。オプションは次の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> • Disabled (無効) (デフォルト) • Every Day (毎日) • Weekdays (平日) • Select Days (選択した日)
USB Wake Support	USB デバイスをシステムに接続するとスタンバイモードからウェイクするように設定できます。  メモ: この機能は、AC 電源アダプタを接続している場合のみ有効になります。スタンバイモードで AC 電源アダプタを取り外した場合、バッテリーの電力を節約するため、セットアップユーティリティはすべての USB ポートへの電力供給を停止します。 <ul style="list-style-type: none"> • Enable USB Wake Support (USB ウェイクサポートを有効にする) • Enable USB Wake Support(USB ウェイクサポートを有効にする) が選択されていません。
Wireless Radio Control	物理的な接続に頼ることなく、ネットワークを有線または無線に自動的に切り替える機能を有効または無効にすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> • Control WLAN Radio (WLAN 無線のコントロール) • Control WWAN Radio (WWAN 無線のコントロール) • Control WLAN radio (WLAN 無線のコントロール) と Control WWAN radio (WWAN 無線のコントロール) のどちらも選択されていません。(デフォルト)
Wake on LAN/WLAN	LAN 信号によってトリガーされた時にコンピュータをオフ状態からオンにする機能を有効または無効にすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> • Disabled (無効) : このオプションでデフォルトで有効に設定されています。 • LAN Only (LAN のみ) • WLAN Only (WLAN のみ) • LAN or WLAN (LAN または WLAN) • LAN with PXE Boot (PXE ブート付き LAN)
Block Sleep	このオプションでは、OS の環境でスリープ (S3 ステート) に入ることを防ぐことができます。 Block Sleep (S3 state) (ブロックスリープ (S3 状態)) - このオプションはデフォルトで無効に設定されています。



オプション	説明
Peak Shift	このオプションでは、1日のピーク時の AC 消費を最小限に抑えることができます。このオプションを有効にすると AC が搭載されていてもバッテリーでのみ作動します。
Advanced Battery Charge Configuration	このオプションでは、バッテリーの性能を最大限に高めることができます。標準充電アルゴリズムと他のテクニックを使用して、非作業時間にバッテリーの性能を最大限に高めます。 無効（デフォルト）
Primary Battery Charge Configuration	バッテリーの充電モードを選択することができます。オプションは以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • 適応 • 標準 • Express Charge（高速充電）：このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • Primarily AC use（主に AC を使用） • カスタム Custom Charge（カスタム充電）が選択されている場合は、Custom Charge Start（カスタム充電開始）と Custom Charge Stop（カスタム充電停止）も設定できます。  メモ: すべての充電モードがすべてのバッテリーに使用できるわけではありません。このオプションを有効にするには、 Advanced Battery Charge Configuration（アドバンストバッテリー充電設定） オプションを無効にします。
Battery Slice Charge Configuration	バッテリー充電のタイプを選択することができます。オプションは以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • Standard Charge（標準充電） • Express Charge（高速充電）：このオプションはデフォルトで有効に設定されています。  メモ: 高速充電はすべてのバッテリーに使用できるわけではありません。このオプションを有効にするには、 Advanced Battery Charge Configuration（アドバンストバッテリー充電設定） オプションを無効にします。
Intel Smart Connect Technology	このオプションが有効の場合、システムがスリープ状態で近くのワイヤレス接続を定期的に感知します。これは、システムがスリープ状態になった時に開かれた E メールやソーシャルメディアアプリケーションを同期化します。

表 9. POST Behavior

オプション	説明
Adapter Warnings	特定の電源アダプタを使用する場合に、セットアップユーティリティ（BIOS）の警告メッセージを、有効または無効にすることができます。


オプション	説明
	デフォルト設定 : Enable Adapter Warnings (アダプタ警告を有効にする)
Keypad (Embedded)	<p>内蔵キーボードに組み込まれているキーパッドを有効にする 2 つの方法のうち、1 つを選択することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Fn Key Only (Fn キーのみ) : このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • By Numlock (Numlock を使用) <p> メモ: キーボード (Embedded) オプションは、Latitude E 5540 ではサポートされていません。</p>
Mouse/Touchpad	<p>マウスとタッチパッドからの入力をシステムがどう処理するかを定義することができます。オプションは以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Serial Mouse (シリアルマウス) • PS2 Mouse (PS2 マウス) • Touchpad/PS-2 Mouse (タッチパッド /PS-2 マウス) : このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
Numlock Enable	<p>コンピュータの起動時に Numlock オプションを有効にすることができます。</p> <p>Enable Network (ネットワークを有効にする) (デフォルト)</p>
Fn Key Emulation	<p><Scroll Lock> キーを使用して、<Fn> キーの機能をシミュレートするオプションを設定することができます。</p> <p>Enable Fn Key Emulation (Fn キーのエミュレートを有効にする) (デフォルト)</p>
Mebx Hotkey	<p>システムが起動したときに MEBx ホットキー機能を有効にするかどうかを指定できます。</p> <p>Enable MEBx Hotkey (MEBx ホットキーを有効にする) (デフォルト)</p>
Fastboot	<p>一部の互換性手順をスキップすることにより、起動プロセスを高速化することができます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Minimal (最小) • Thorough (完全) • 自動
Extended BIOS POST Time	<p>プレブート遅延を追加で作成することができます。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 0 秒 • 5 秒 (デフォルト) • 10 秒

表 10. 仮想化サポート

オプション	説明
Virtualization	Intel Virtualization Technology を有効または無効にすることができます。 Intel Virtualization テクノロジーを有効にする (デフォルト)
VT for Direct I/O	ダイレクト I/O 用に Intel® Virtualization テクノロジーによって提供される付加的なハードウェア機能を仮想マシンモニター (VMM) が利用するかどうかを指定します。 Enable VT for Direct I/O (Direct I/O 用 VT を有効にする) (デフォルトで選択)
Trusted Execution	このオプションでは、Intel Trusted Execution Technology によって提供される付加的なハードウェア機能を Measured Virtual Machine Monitor (MVMM) が利用できるようにするかどうかを指定します。この機能を使用するには、TPM Vitalization Technology、および VT for Direct I/O (直接 I/O 用の仮想化テクノロジー) を有効にする必要があります。 Trusted Execution – デフォルトで無効に設定されています。

表 11. ワイヤレス

オプション	説明
Wireless Switch	ワイヤレススイッチで制御できるワイヤレスデバイスを設定することができます。オプションは以下のとおりです。
Latitude E5440	<ul style="list-style-type: none"> • WWAN • WLAN • WiGig • Bluetooth <p>すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。</p>
Latitude E5540	<ul style="list-style-type: none"> • WLAN • WiGig • Bluetooth <p>すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。</p>
Wireless Device Enable	内蔵ワイヤレスデバイスを有効または無効にすることができます。
Latitude E5440	<ul style="list-style-type: none"> • WWAN • WLAN / WiGig • Bluetooth <p>すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。</p>
Latitude E5540	<ul style="list-style-type: none"> • WLAN / WiGig • Bluetooth

オプション	説明
	すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。

表 12. メンテナンス

オプション	説明
Service Tag	お使いのコンピューターのサービスタグが表示されます。
Asset Tag	アセットタグがまだ設定されていない場合、システムアセットタグを作成することができます。このオプションはデフォルトでは設定されていません。

表 13. システムログ

オプション	説明
BIOS Events	セットアップユーティリティ (BIOS) の POST イベントを表示またはクリアすることができます。
Thermal Events	セットアップユーティリティ (Thermal) のイベントを表示またはクリアすることができます。
Power Events	セットアップユーティリティ (Power) のイベントを表示またはクリアすることができます。

BIOS のアップデート

システム基板の交換時または更新が可能な場合、BIOS (システムセットアップ) をアップデートされることをお勧めします。ラップトップの場合、お使いのコンピュータのバッテリーがフル充電されていて電源プラグに接続されていることを確認してください。

1. コンピュータを再起動します。
2. dell.com/support にアクセスします。
3. サービスタグやエクスプレスサービスコードを入力し、送信をクリックします。
 -  **メモ:** サービスタグを見つけるには、**Where is my Service Tag? (サービスタグの検索)** をクリックします。
 -  **メモ:** サービスタグが見つからない場合は、**Detect My Product (マイプロダクトの検索)** をクリックします。画面上の説明に進みます。
4. サービスタグの検索または検出ができない場合、コンピュータの製品カテゴリをクリックします。
5. リストから **Product Type (製品のタイプ)** を選択します。
6. お使いのコンピュータモデルを選択すると、そのコンピュータの**製品サポートページ**が表示されます。
7. **Get drivers (ドライバを取得)** をクリックし、**View All Drivers (すべてのドライバを表示)** をクリックします。

ドライバおよびダウンロードページが開きます。
8. ドライバおよびダウンロード画面で、**オペレーティングシステム**ドロップダウンリストから **BIOS** を選択します。
9. 最新の BIOS ファイルを選んで **Download File (ファイルのダウンロード)** をクリックします。

アップデートが必要なドライバを分析することもできます。お使いの製品でこれを行うには、**Analyze System for Updates (アップデートが必要なシステムの分析)** をクリックし、画面の指示に従います。

10. 希望のダウンロード方法を以下から選択してくださいウィンドウで希望のダウンロード方法を選択し、**Download File** (ファイルのダウンロード) をクリックします。
ファイルのダウンロードウィンドウが表示されます。
11. ファイルをコンピュータに保存する場合は、**保存**をクリックします。
12. **実行**をクリックしてお使いのコンピュータに更新された BIOS 設定をインストールします。
画面の指示に従います。




システムパスワードおよびセットアップパスワード

システムパスワードとセットアップパスワードを作成してお使いのコンピュータを保護することができます。

パスワードの種類 説明


システムパスワード システムにログオンする際に入力が必要なパスワードです。

セットアップパスワード お使いのコンピュータの BIOS 設定にアクセスして変更をする際に入力が必要なパスワードです。

-  **注意:** パスワード機能は、コンピュータ内のデータに対して基本的なセキュリティを提供します。
-  **注意:** コンピュータをロックせずに放置すると、コンピュータ上のデータにアクセスされる可能性があります。
-  **メモ:** お使いのシステムは、出荷時にシステムパスワードとセットアップパスワードの機能が無効に設定されています。

システムパスワードおよびセットアップパスワードの割り当て

パスワードステータスが**ロック解除**の場合に限り、新しいシステムパスワードやセットアップパスワードの設定、または既存のシステムパスワードやセットアップパスワードの変更が可能です。パスワードステータスが**ロック**に設定されている場合、システムパスワードは変更できません。

-  **メモ:** パスワードジャンプの設定を無効にすると、既存のシステムパスワードとセットアップパスワードは削除され、コンピュータへのログオン時にシステムパスワードを入力する必要がなくなります。

システムセットアップを起動するには、電源投入または再起動の直後に <F2> を押します。

1. **システム BIOS** 画面または**システムセットアップ**画面で、**システムセキュリティ**を選択し、<Enter> を押します。
システムセキュリティ画面が表示されます。
2. システムセキュリティ画面で **パスワードステータス**が **ロック解除**に設定されていることを確認します。
3. **システムパスワード**を選択してシステムパスワードを入力し、<Enter> または <Tab> を押します。
以下のガイドラインに従ってシステムパスワードを設定します。
 - パスワードの文字数は 32 文字までです。
 - 0 から 9 までの数字を含めることができます。
 - 小文字のみ有効です。大文字は使用できません。
 - 特殊文字は、次の文字のみが利用可能です：スペース、()、(+)、()、(-)、()、(/)、(:)、(|)、(\)、()、()。


プロンプトが表示されたら、システムパスワードを再度入力します。

4. 入力したシステムパスワードをもう一度入力し、**OK** をクリックします。
5. **セットアップパスワード**を選択してシステムパスワードを入力し、<Enter> または <Tab> を押します。
セットアップパスワードの再入力を求めるメッセージが表示されます。
6. 入力したセットアップパスワードをもう一度入力し、**OK** をクリックします。
7. <Esc> を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
8. <Y> を押して変更を保存します。
コンピューターが再起動します。

既存のシステムパスワードおよび / またはセットアップパスワードの削除または変更

既存のシステムパスワードおよび/またはセットアップパスワードを削除または変更する前に**パスワード状態**がロック解除(システムセットアップで)になっていることを確認します。**パスワード状態**がロックされている場合、既存のシステムパスワードまたはセットアップパスワードを削除または変更することはできません。

システムセットアップを入力するには、電源投入または再起動の直後に <F2> を押します。

1. システム BIOS 画面またはシステムセットアップ画面で、**システムセキュリティ**を選択し、<Enter> を押します。
システムセキュリティ画面が表示されます。
2. システムセキュリティ画面で**パスワードステータス**が**ロック解除**に設定されていることを確認します。
3. **システムパスワード**を選択し、既存のシステムパスワードを変更または削除して、<Enter> または <Tab> を押します。
4. **セットアップパスワード**を選択し、既存のセットアップパスワードを変更または削除して、<Enter> または <Tab> を押します。
 **メモ:** システムパスワードおよび/またはセットアップパスワードを変更する場合、プロンプトが表示されたら新しいパスワードを再度入力してください。システムパスワードおよび/またはセットアップパスワードを削除する場合、プロンプトが表示されたら削除を確認してください。
5. <Esc> を押すと、変更の保存を要求するメッセージが表示されます。
6. <Y> を押して変更を保存しシステムセットアップを終了します。
コンピューターが再起動します。


診断


コンピューターに問題が起こった場合、デルのテクニカルサポートに電話する前に ePSA 診断を実行してください。診断プログラムを実行する目的は、特別な装置を使用せず、データが失われる心配をすることなくコンピューターのハードウェアをテストすることです。お客様がご自分で問題を解決できない場合でも、サービスおよびサポート担当者が診断プログラムの結果を使って問題解決の手助けを行うことができます。

ePSA（強化された起動前システムアセスメント）診断

ePSA 診断 (システム診断としても知られている) ではハードウェアの完全なチェックを実施します。ePSA には BIOS が埋め込まれており、内部的に BIOS によって起動されます。埋め込まれたシステム診断では以下のことが可能な特定のデバイスまたはデバイスグループにオプションのセットを提供します:





- テストを自動的に、または対話モードで実行
- テストの繰り返し
- テスト結果の表示または保存
- 詳細なテストで追加のテストオプションを実行し、障害の発生したデバイスに関する詳しい情報を得る
- テストが問題なく終了したかどうかを知らせるステータスメッセージを表示
- テスト中に発生した問題を通知するエラーメッセージを表示

 **注意:** システム診断は、お使いのコンピューターをテストする場合にのみ使用してください。このプログラムを他のコンピューターで使用すると、無効な結果やエラーメッセージが発生する場合があります。

 **メモ:** 特定のデバイスについてはユーザーの対話が必要なテストもあります。診断テストを実行する際にコンピューター端末の前に常にいなければなりません。

1. コンピューターの電源を入れます。
2. コンピューターが起動すると、Dell のロゴが表示されるように <F12> キーを押します。
3. 起動メニュー画面で、**診断** オプションを選択します。
ePSA 起動前システムアセスメントウィンドウが表示され、コンピューター内で検出された全デバイスがリストアップされます。診断が検出された全デバイスのテストを開始します。
4. 特定のデバイスで診断テストを実行する場合、<Esc> を押して **はい** をクリックし、診断テストを中止します。
5. 左のパネルからデバイスを選択し、**テストの実行**をクリックします。
6. 問題がある場合、エラーコードが表示されます。
 エラーコードをメモしてデルに連絡してください。

デバイスステータスライト

アイコン	説明
	コンピュータに電源を入ると点灯し、コンピュータが省電力モードの場合は点滅します。
	コンピュータがデータを読み取ったり、書き込んだりしている場合に点灯します。
	点灯、または点滅してバッテリーの充電状態を示します。
	ワイヤレスネットワークが有効の場合、点灯します。

バッテリーステータスライト

コンピューターがコンセントに接続されている場合、バッテリーライトは次のように動作します。

黄色と白色が交互に点滅	認定されていない、またはサポートされていないデル以外の AC アダプターがラップトップに接続されている。
黄色が短く、白色が長く交互に点滅	AC アダプターに接続されており、一時的なバッテリーの不具合が発生した。
黄色が連続的に点滅	AC アダプターに接続されており、致命的なバッテリーの不具合が発生した。
消灯	AC アダプターに接続されており、バッテリーがフル充電モードになっている。
白色点灯	AC アダプターに接続されており、バッテリーが充電モードになっている。

仕様



 **メモ:** 提供される内容は地域により異なる場合があります。コンピュータの構成の詳細を確認するには、スタート  (スタートアイコン) → ヘルプとサポート の順にクリックし、お使いのコンピュータに関する情報を表示するオプションを選択してください。

表 14. システム情報

機能	仕様
DRAM バス幅	64 ビット
フラッシュ EPROM	SPI 32Mbits + 64Mbits
PCIe Gen1 バス	100 MHz
外付けバスの周波数	DMI (5GT/秒)

表 15. プロセッサ

機能	仕様
タイプ	<ul style="list-style-type: none"> • Intel Core i3 シリーズ • Intel Core i5 シリーズ • Intel Core i7 シリーズ
L3 キャッシュ	最大 8 MB

表 16. メモリ




機能	仕様
メモリコネクタ	SoDIMM スロット 2 個
メモリ容量	2 GB、4 GB、または 8 GB
メモリのタイプ	DDR3 SDRAM 1600 Mhz
最小メモリ	2 GB
	 メモ: 64 ビットのオペレーティングシステムには、少なくとも 4 GB のメモリが必要です。
最大メモリ	16 GB
	 メモ: 各 SoDIMM スロットは最大 8 GB のメモリをサポートしています。
	 メモ: 16 GB のメモリの使用には、64 ビットのオペレーティングシステムが必要です。

表 17. mSATA サポート

機能	仕様
Express カード I/O および外付けグラフィックスの設定	Latitude E5440 および Latitude E5540 の両方で mSATA サポートなし。
他の構成	Latitude E5440 および Latitude E5540 の両方で mSATA サポート。
外付けグラフィックスおよびすべての UMA グラフィックス設定で Express カード I/O なし	<ul style="list-style-type: none"> Latitude E5440 の mSATA および WWAN をサポート Latitude E5540 の mSATA をサポート

表 18. オーディオ

機能	仕様
タイプ	4 チャンネルハイデフィニションオーディオ
コントローラ	Realtek ALC3226
ステレオ変換	24 ビット (デジタル変換、アナログ変換)
インタフェース :	
内蔵	ハイデフィニションオーディオ
外部	マイク入力/ステレオヘッドフォン/外付けスピーカーコネクタ
スピーカー	(2)
内蔵スピーカーアンプ	各チャンネル 1W (RMS)
ボリュームコントロール	ボリュームコントロールとミュートコントロールのホットキー

表 19. ビデオ

機能	仕様
タイプ	システム基板に内蔵
コントローラ	
UMA	Intel HD グラフィックス 4600
ディスクリート	Nvidia GeForce (N14M-GE) 外付けグラフィックスカード、2 GB グラフィックス

表 20. 通信

機能	仕様
ネットワークアダプタ	10/100/1000 Mb/s Ethernet (RJ-45)
ワイヤレス	<ul style="list-style-type: none"> 内蔵ワイヤレスローカルエリアネットワーク (WLAN) ワイヤレス WAN (WWAN) (E5440 のみ)

表 21. ポートとコネクタ


機能	仕様
オーディオ (オプション)	マイクコネクタ/ステレオヘッドフォン/スピーカーコネクタ (1)
ビデオ	<ul style="list-style-type: none"> 15 ピン VGA コネクタ (1) 19 ピン HDMI コネクタ
ネットワークアダプタ	RJ-45 コネクタ (1)
USB 2.0	<ul style="list-style-type: none"> 4 ピン USB 2.0 準拠コネクタ (E5440) (1) 4 ピン USB 2.0 準拠コネクタ (E5540) (2) <p> メモ: Latitude E 5540 コンピュータがドッキングステーションに接続されると、Latitude E 5540 コンピュータの背面にある USB 2.0 コネクタが無効になります。</p>
USB 3.0	USB 3.0 準拠コネクタ (2)
メモ리카ードリーダー	8-in-1 メモ리카ードリーダー (1)
ドッキングポート	(1)
加入者識別モジュール (SIM) ポート	(1) (E5440 のみ)

表 22. ディスプレイ

機能	仕様
タイプ	
Latitude E5440	<ul style="list-style-type: none"> HD (1366x768)、WLED HD+ (1600 x 900)
Latitude E5540	<ul style="list-style-type: none"> HD (1366x768)、WLED FHD (1920 x 1080)
サイズ	
Latitude E5440	14.0 インチ
Latitude E5540	15.6 インチ
寸法 :	
Latitude E5440 :	
高さ	192.5 mm (7.57 インチ)
幅	324 mm (12.75 インチ)
対角線	355.60 mm (14.00 インチ)
有効領域 (X/Y)	309.40 mm x 173.95 mm
最大解像度	<ul style="list-style-type: none"> 1366 x 768 ピクセル 1600 x 900 ピクセル

機能	仕様
最大輝度	200 ニット
Latitude E5540:	
高さ	210 mm (8.26 インチ)
幅	360 mm (14.17 インチ)
対角線	394.24 mm (15.60 インチ)
有効領域 (X/Y)	344.23 mm x 193.54 mm
最大解像度	<ul style="list-style-type: none"> 1366 x 768 ピクセル 1920 x 1080 ピクセル
最大輝度	HD が 220 ニット、FHD が 300 ニット
動作角度	0° (閉じた状態) ~ 135°
リフレッシュレート	60 Hz
最小視角:	
水平方向	<ul style="list-style-type: none"> HD が +/- 40° FHD が +/- 60°
垂直方向	<ul style="list-style-type: none"> HD が +10°/-30° FHD が +/-50°
ピクセルピッチ:	
Latitude E5440	0.2265 mm x 0.2265 mm
Latitude E5540	<ul style="list-style-type: none"> HD が 0.2520 mm x 0.2520 mm FHD が 0.1790 x 0.1790

表 23. キーボード

機能	仕様
キー数	米国: 86 キー、イギリス: 87 キー、ブラジル: 87 キー、日本: 90 キー
レイアウト	QWERTY/AZERTY/漢字

表 24. タッチパッド

機能	仕様
動作領域:	
X 軸	80.00 mm (3.15 インチ)
Y 軸	45.00 mm (1.77 インチ)

表 25. バッテリー



機能	仕様
タイプ	4 セル、6 セル、または 9 セル「スマート」リチウムイオン
寸法：	
高さ	
4 セル、6 セル、および 9 セル	20.00 mm (0.79 インチ)
幅	
4 セルおよび 6 セル	208.00 mm (8.18 インチ)
9 セル	214.00 mm (8.43 インチ)
奥行き	
4 セルおよび 6 セル	48.08 mm (1.89 インチ)
9 セル	71.79 mm (2.83 インチ)
重量	
4 セル	240.00 g (0.53 ポンド)
6 セル	344.73 g (0.76 ポンド)
9 セル	508.20 g (1.12 ポンド)
電圧	
4 セル	14.8 VDC
6 セルおよび 9 セル	11.1 VDC
温度範囲：	
稼働時	0 °C ~ 50 °C (32 °F ~ 122 °F)
非動作時	-40 °C ~ 85 °C (-40 °F ~ 185 °F)
	 メモ: バッテリーパックは、100 パーセント充電の状態です。上記の保管温度に対応します。
	 メモ: また、パフォーマンスの低下を招くことなく、-20 ~ 60 °C の保管温度に対応します。
コイン型電池	3 V CR2032 コイン型リチウム電池

表 26. AC アダプタ

機能	Latitude E5440	Latitude E5540
タイプ	65 W	90 W アダプタ
入力電圧	100 ~ 240 VAC	100 ~ 240 VAC
入力電流 (最大)	1.7 A	1.5 A
入力周波数	50 ~ 60 Hz	50 ~ 60 Hz

機能	Latitude E5440	Latitude E5540
出力電力	65 W	90 W
出力電流	3.34 A (連続稼働時)	4.62 A (連続稼働時)
定格出力電圧	19.5 +/- 1.0 VDC	19.5 +/- 1.0 VDC
温度範囲：		
稼働時	0 °C ~ 40 °C (32 °F ~ 104 °F)	0 °C ~ 40 °C (32 °F ~ 104 °F)
非動作時	-40 °C ~ 70 °C (-40 °F ~ 158 °F)	-40 °C ~ 70 °C (-40 °F ~ 158 °F)


表 27. 物理的仕様

物理的仕様	Latitude E5440		Latitude E5540	
	タッチ	非タッチ	タッチ	非タッチ
高さ	前面 - 27.70 mm (1.09 インチ)	前面 - 25.20 mm (0.99 インチ)	前面 - 28.25 mm (1.11 インチ)	前面 - 26.00 mm (1.02 インチ)
	背面 - 32.20 mm (1.27 インチ)	背面 - 28.65 mm (1.13 インチ)	背面 - 33.60 mm (1.32 インチ)	背面 - 29.70 mm (1.17 インチ)
幅	338.00 mm (13.31 インチ)		379.00 mm (14.92 インチ)	
奥行き	235.00 mm (9.25 インチ)		250.50 mm (9.86 インチ)	
重量 (最 小)	1.99 kg (4.40 ポンド)		2.42 kg (5.35 ポンド)	

表 28. 環境

機能	仕様
温度：	
稼働時	0 °C ~ 35 °C (32 °F ~ 95 °F)
保管時	-40 °C ~ 65 °C (-40 °F ~ 149 °F)
相対湿度 (最大)：	
稼働時	10 % ~ 90 % (結露しないこと)
保管時	5 % ~ 95 % (結露しないこと)
高度 (最大)：	
稼働時	-15.24 ~ 3048 m m (-50 ~ 10,000 フィート フィート)
非動作時	-15.24 m ~ 10,668 m (-50 ~ 35,000 フィート)
空气中浮遊汚染物質レベル	G1 (ISA-71.04-1985 の定義による)

デルへのお問い合わせ

 **メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国 / 地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. dell.com/support にアクセスします。
2. サポートカテゴリを選択します。
3. ページの下部にある **国 / 地域**の選択 ドロップダウンリストで、お住まいの国または地域を確認します。
4. 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。